

施工説明書 アラウーノ専用手洗い (背面タイプ)

品番

部材	据置き型		フロート型	
	手動水栓	自動水栓	手動水栓	自動水栓
	XGH8HGS□□L(R)	XGH8HGJ□□L(R)(7)	XGH8YGS□□L(R)	XGH8YGJ□□L(R)(7)
キャビネット本体	GHA8FHL(R)	GHA8FHL(R)	GHA8FYL(R)	GHA8FYL(R)
手洗いボール	GHA8T2S	GHA8T2J(7)	GHA8T2S	GHA8T2J(7)
ゲート	GHA8HG□□	GHA8HG□□	GHA8YG□□	GHA8YG□□

L：L仕様 R：R仕様 7：寒冷地 □□：色品番



もくじ

安全上のご注意	2
部品表	4
施工前の準備	5
施工手順(据置き型)	12
施工手順(フロート型)	22
扉の取り付けかた／試運転	32
施工後の確認	33

- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」(2～3ページ)は、施工前に必ずお読みください。
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 施工後は引き渡しの際に、取扱説明書に従って取扱方法をお施主様にご説明いただき、保証書に必要事項を記入してお施主様にお渡しください。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。



安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●バスルームなどの湿気の多い場所に設置しない 感電や火災の原因となります。 ●分解・改造はしない 感電・火災・けがの原因となります。 ●屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には施工しない 本体が破損し、発火や発煙の原因となります。 ●電源コードを無理に引っ張らない けがや発火、発煙の原因となります。 ●ぬれた手で電源プラグを触らない 感電の原因となります。 ●傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない、また電源コードの屈曲など破損するようなことはしない 感電・火災・けがの原因となります。 	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●給水位置の真下にコンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない 感電や火災のおそれがあります。 ●便器を取り付けるときは、電源コードやアース線をはさみ込まない 火災や感電の原因となります。
		 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●自動水栓タイプの場合、電源は必ず交流100Vの専用回路が設けられていることを確認する 感電や火災の原因となります。 ●電気工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う 漏電・火災・水漏れの原因となります。

安全上のご注意

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●給水管に強い力を加えない 破損による水漏れの原因となります。 	 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●壁面固定位置の壁面強度が十分あることを確認する 石こうボードの場合は、アンカープラグを打ち込んでから壁面固定する また、ねじ固定を指定の個所に1か所追加する 十分な強度がない場合は、12mm以上の合板で補強する 落下によるけがの原因となります。 ●ねじ頭が飛び出たままにならないように最後までしっかりとめる 配管を傷つけ、水漏れの原因となります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●施工後は必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する 拡大損害の原因となります。 ●施工後は必ず手洗いボールや扉のがたつきがないことを確認する 落下によるけがの原因となります。 ●壁面の固定は必ず同梱の指定ねじ、指定金具を使用する 落下によるけがの原因となります。 		

⚠ 注意

<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">!</div> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●排水管をしっかり締めつける 水漏れの原因となります。 ●水道工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う 水漏れの原因となります。 ●上水道に接続する 故障・肌のかぶれの原因となります。 ●凍結のおそれのある地域では、水抜きなどの凍結防止措置を行う 水漏れなどで家財などに損害を与える原因となります。 	<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">!</div> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●給排水接続は必ず正しい方法で施工する 破損・水漏れの原因になります。 ●止水栓にがたつきのないことを確認する 水漏れの原因になります。 ●給排水の接続には必ず指定のパッキンを使用する 施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。 ●施工時は製品の転倒に注意する けがの原因となります。
---	---

改訂履歴

改訂年月	NO.	改訂ページ	改訂内容
2017年2月	1版	16、25	部品名修正
		29	扉の取り付けかた追加
2017年4月	2版	2、5	石こうボードに関する文言追加
		4	石こうボード対応に伴う員数変更、誤記修正
		13、23	石こうボードを設置する場合の施工方法追記
2017年5月	3版	10	アラウーノ施工型紙の基準位置と床フランジに関する文言追加
2017年8月	4版	17、27	定流量弁に関する文言追加
2018年9月	5版	6	CH150の給水範囲追加
		8、9	文言追加
		15、25	パッキン色の修正
		17、27	定流量弁に関する文言追加
		18、28	CH150の接続例を追加
2021年8月	6版	5~8、10、12~13、19~21、22~23、29~31、32	CH160に関する文言追加
2022年11月	8版	11	床フランジのイラスト修正

部品表

ゲート (エンドパネル・カウンター)

部品名		入り数	部品名		入り数
エンドパネル (据置き型)	(フロート型)	1	カウンター (据置き型)	(フロート型)	1

キャビネット

部品名	入り数	部品名	入り数	部品名	入り数
キャビネット (据置き型)	(フロート型)	カバーA (据置き型)	(フロート型)	排水L管	1
				排水トラップ	
水はね防止プレート	1	施工説明書・取扱説明書	各1	導入ホース	1

水栓

- *1: 石こうボードの場合: 9本使用、石こうボード以外の場合: 8本使用
 *2: 石こうボードの場合: 9本使用、コンクリートの場合: 8本使用、左記以外の場合: 使用しない

部品名	入り数	部品名	入り数	部品名	入り数
手洗いボール (手動水栓)	(自動水栓)	キャビネット固定ねじ トラスタッピンねじφ4×45	9*1	サドルバンド用固定ねじ トラスタッピンねじφ3×20	2
		カウンター・ エンドパネル固定ねじ 連結タッピングφ4×28 キャップ(白)付き	5	コントロール ユニット	1
分岐水栓	1	手洗いボール固定ねじ スリムヘッド小ねじφ4×20 ゴムワッシャー・金属 ワッシャー・スペーサー付き	2	クイックファスナー (ファスナーロック付)	各1
給水ホース 手動水栓: 1.6m 自動水栓: 1.3m	1	アンカー	9*2	コントロールユニット 固定ねじ トラスタッピンねじφ4×28	2
カバーB	1	サドルバンド(大) (導入ホース用)	1		
		サドルバンド(小) (給水ホース用)	1		

取り付け前の確認

- 使用水圧範囲は、0.1MPa(流動時)～0.75MPa(静止時)です。
- 一部の特定地域では設置できない場合や水道事業管理者の承認が必要な場合があります。
弊社営業所、または販売店にご相談ください。
- 止水栓および便器は、この製品に含まれておりません。別途お求めください。
- CH130、CH141、CH140、CH3010との組み合わせの場合は、ホルソー(φ48mm～φ52mm)をご準備ください。
- キャビネットには、背板がありません。リフォームなどでトイレルームのクロスを貼り替える場合は、設置前に貼ってください。
- 便器の中心から手洗いボール側の壁面が375～395mmの場合のみ設置可能です。
間口の中心が便器の中心の場合、設置可能なトイレルームは、間口750～790mmです。
- 配線工事は必ず電気工事店にご依頼ください。
- AC100V、15A専用配線が必要です。
- 製品のコード長さは60cmです。電源コンセントはこれに適した位置へ設置してください。
- 本書では、便器に向かって、手洗いを左に設置する場合をL仕様、右に設置する場合をR仕様と呼んでいます。
R仕様とL仕様は対称となります。

設置位置の確認

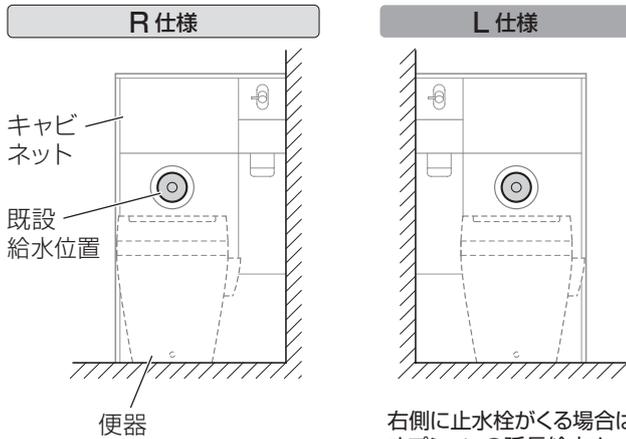
- 湿気の多い場所には設置しないでください。
腐食するおそれがあります。
- 直射日光のあたる場所には設置しないでください。
変色するおそれがあります。
- 製品の固定前に壁構造を必ず確認してください。
製品の固定位置の壁裏面に木枠がない場合は、壁面裏に幅90mm×厚さ21mm以上の木枠を取り付けるか、厚さ12mm以上の補強合板を貼り付けて、壁の補強を行ってください。
ただし、石こうボードの場合(十分な強度があることを確認してください)は、同梱のアンカープラグを打ち込んでから壁面固定し、ねじ固定を指定の個所に1か所追加することで設置することができます。
(詳細は14、24ページをご参照ください。)
壁面コンクリートの場合、アンカープラグを打ち込んでから壁面固定してください。
- 製品を固定する壁面は平らに、かつ床面に対して垂直に仕上げてください。
幅木などがある場合は、建築側と調整し、製品が壁面にすき間なく固定できるようにしてください。
壁面が平らでない場合、製品が変形し、扉面に著しい段差が生じることがあります。

施工前の準備

給水位置の確認①

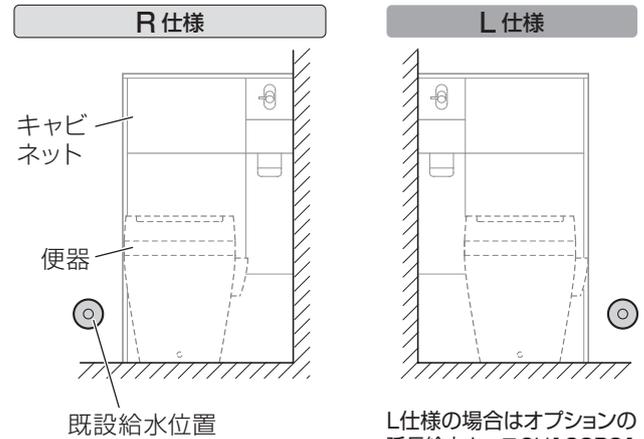
① 給水位置が設置するキャビネットの内側、外側のどちらにあるか確認する。

内側にある



右側に止水栓がくる場合は
オプションの延長給水ホース
CH100R01 (1m)が必要です。

外側にある



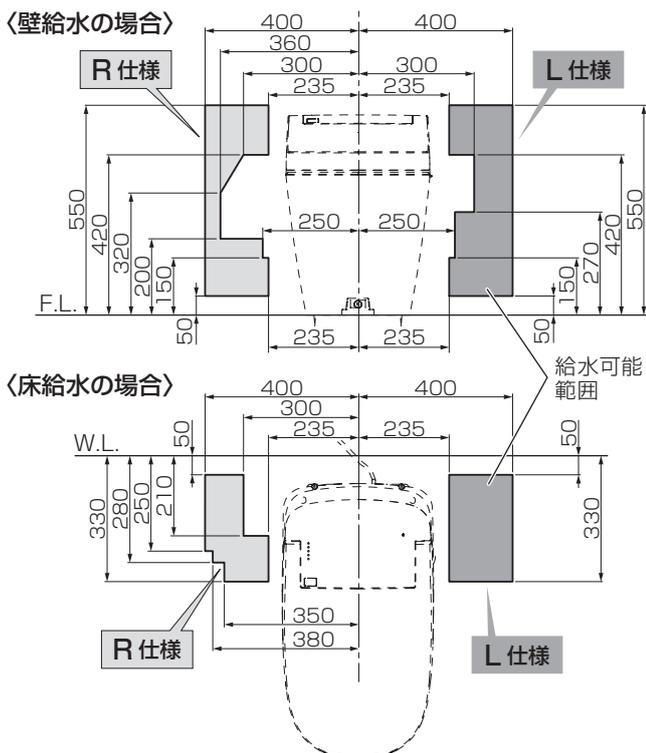
L仕様の場合はオプションの
延長給水ホースCH100R01
(1m)が必要です。

9ページの
「給水位置の確認②」へすすむ。

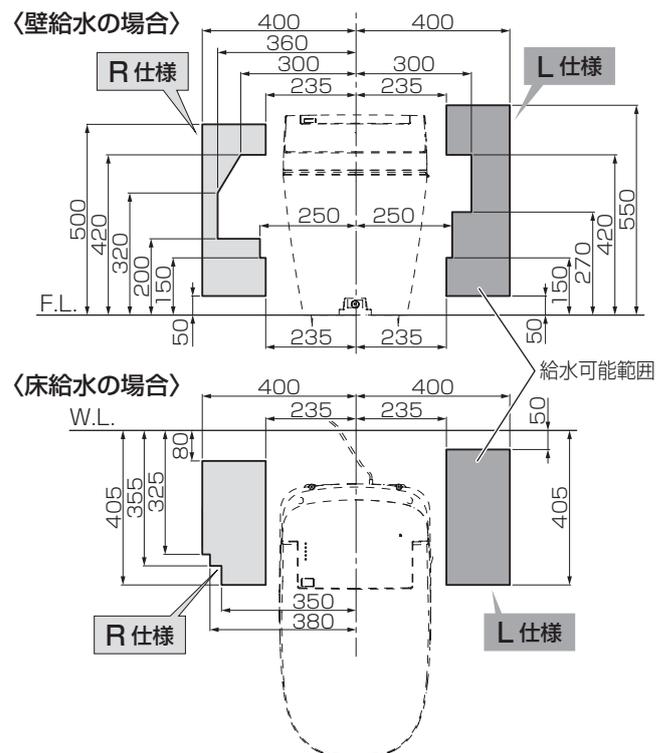
アラウーノの機種によって給水可能範囲
が異なります。下図をご確認ください。

CH160

据置き型

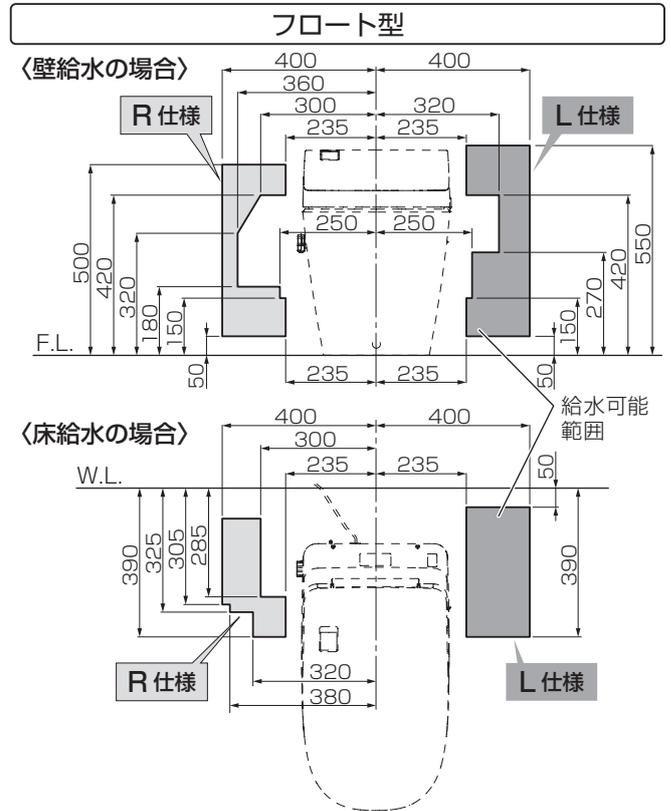
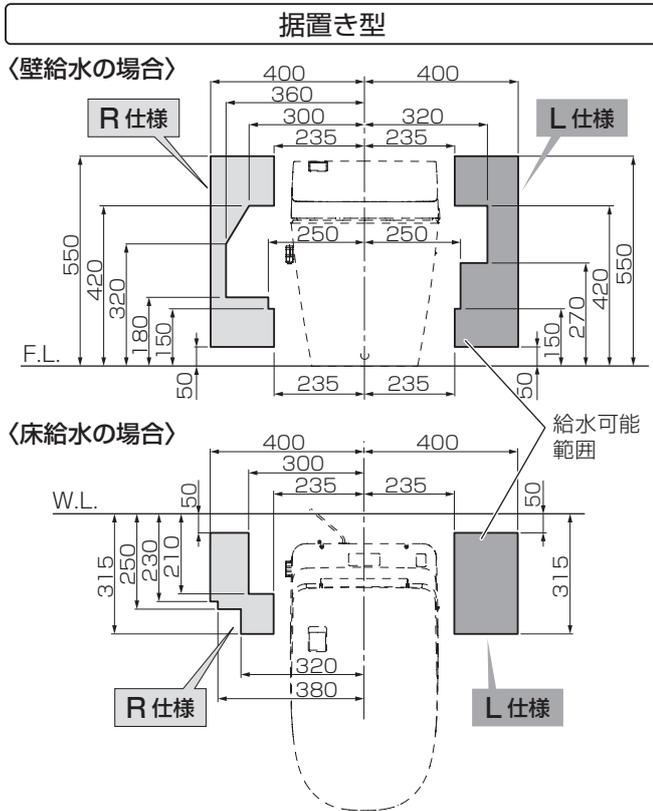


フロート型

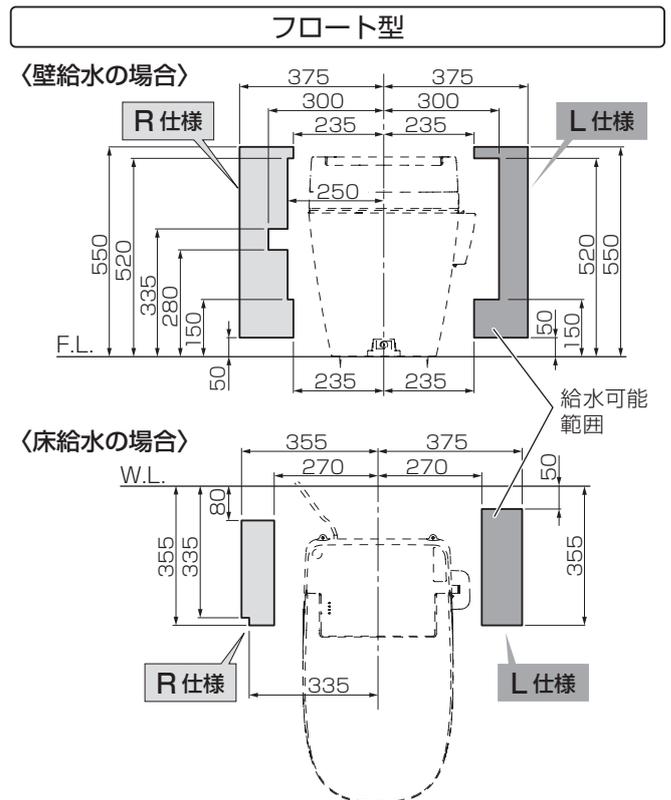
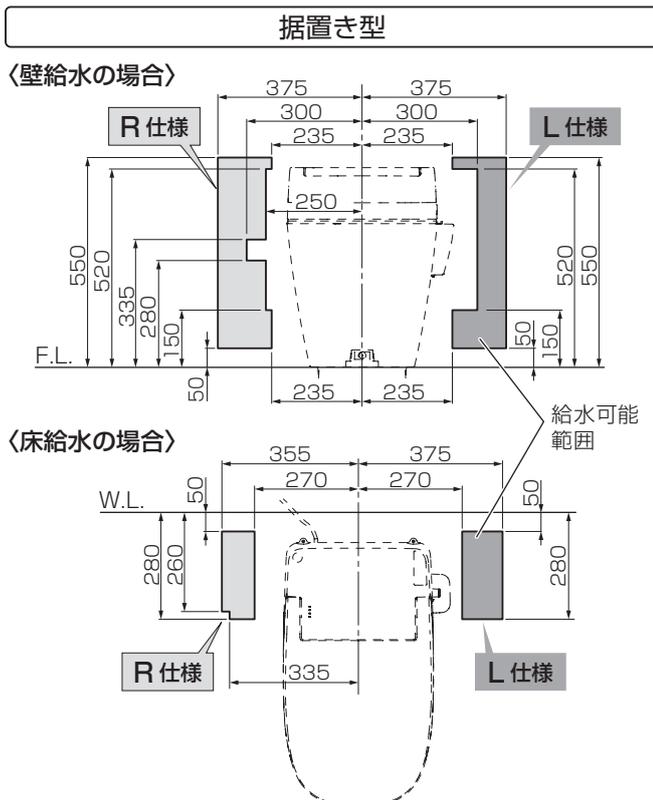


CH150/CH130

※イラストは、CH150で説明しています。



CH141、CH140



施工前の準備

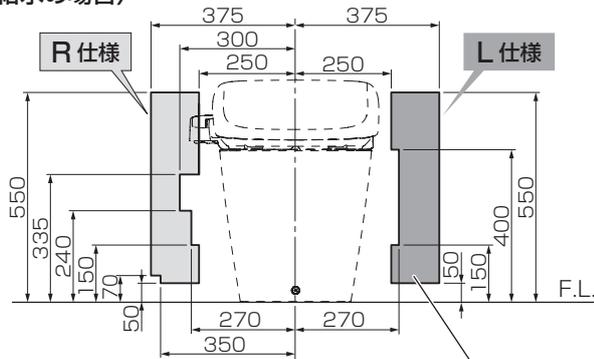
施工前の準備

給水位置の確認①

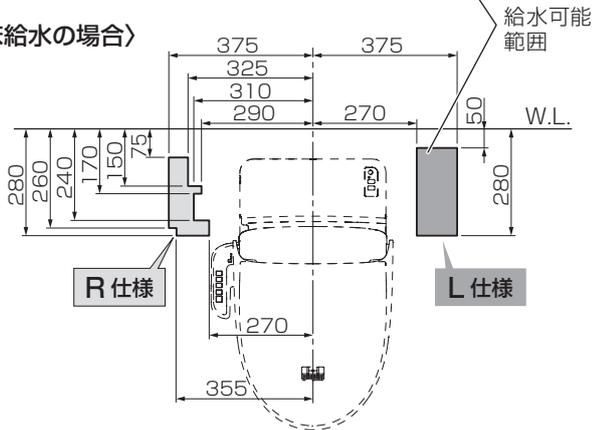
CH3010

据置き型

〈壁給水の場合〉



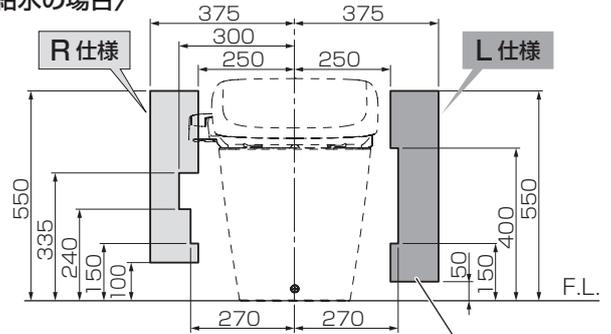
〈床給水の場合〉



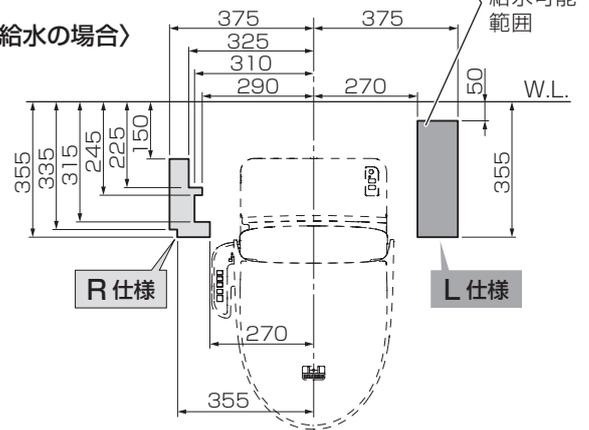
給水可能範囲

フロート型

〈壁給水の場合〉



〈床給水の場合〉



給水可能範囲

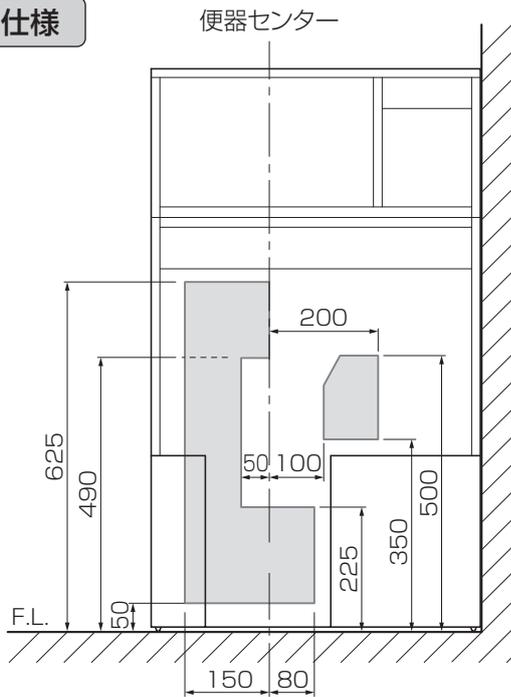
給水位置の確認② <キャビネット内側にある場合>

② 給水位置がキャビネットの内側にある場合※、下図の給水可能範囲内であることを確認してください。

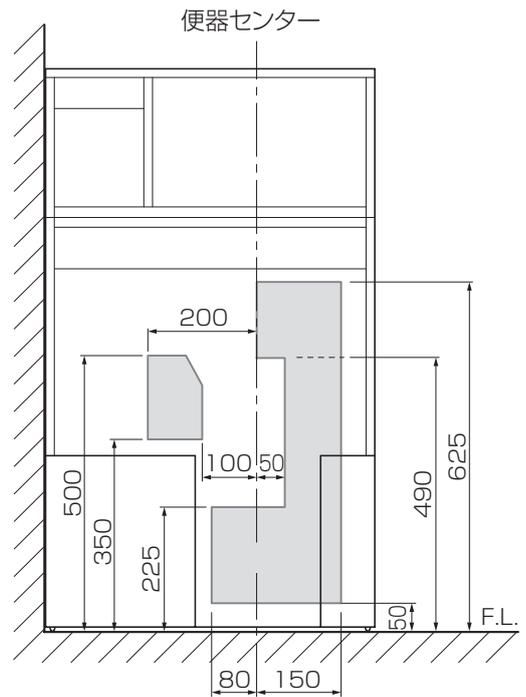
※取替止水栓セット(CHA01T)が必要です。

据置き型

R仕様



L仕様

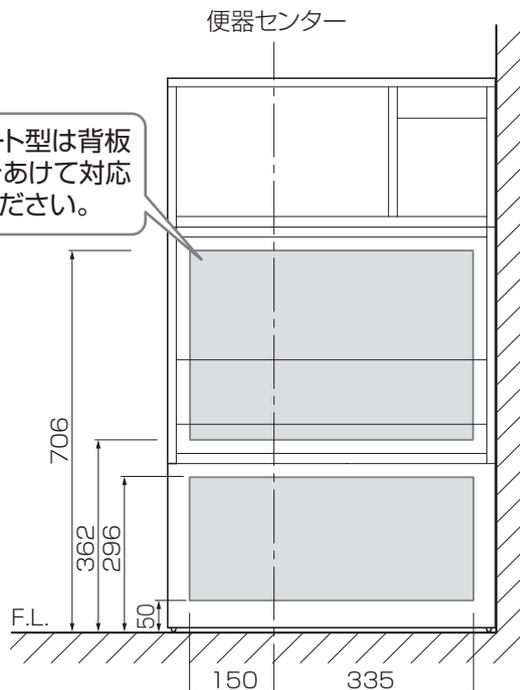


フロート型

R仕様

※L仕様は左右反転です。

フロート型は背板に穴をあけて対応してください。

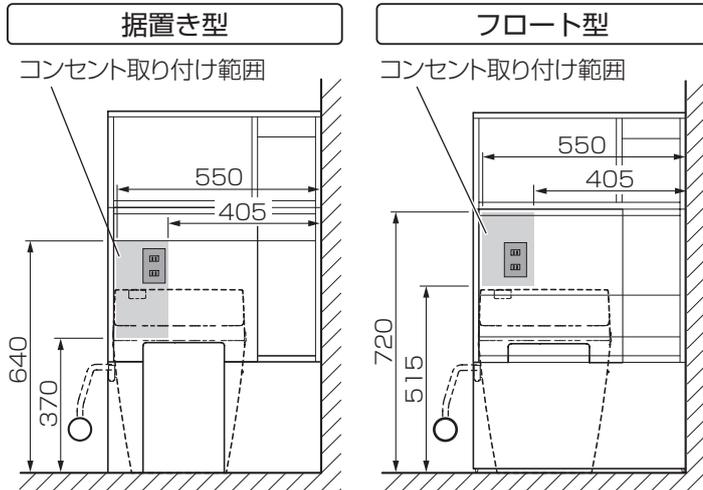


施工前の準備

<自動水栓のみ> コンセントの確認

下記の取り付け可能条件を全て満たしていることを確認し、施工を行ってください。

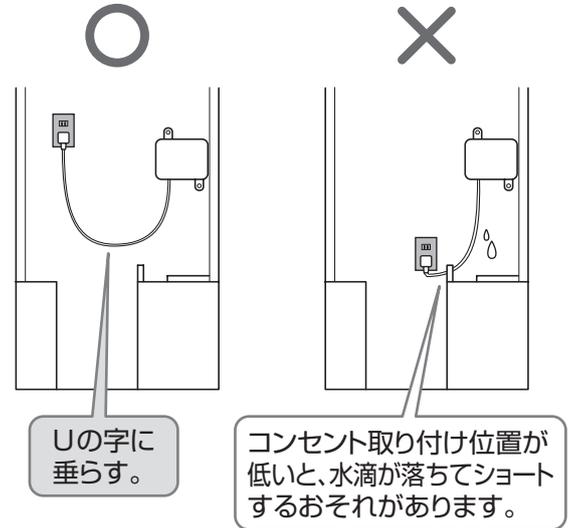
① 下図の取り付け範囲内に納める



※フロート型は、コンセント位置に合わせて、キャビネットの背板に穴を開ける必要があります。

※L仕様の場合は、左右対称になります。

② 電源コードはUの字になるよう垂らす



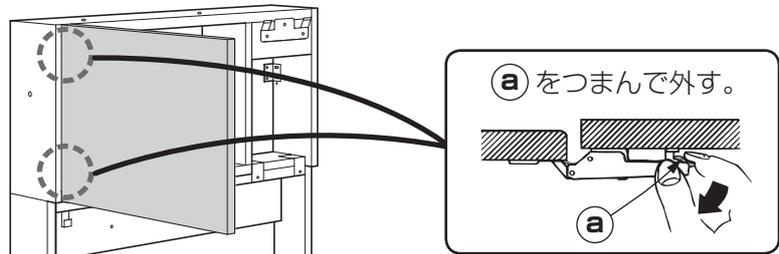
Uの字に垂らす。

コンセント取り付け位置が低いと、水滴が落ちてショートするおそれがあります。

※図は据置き型の場合です。

扉の取り外しかた

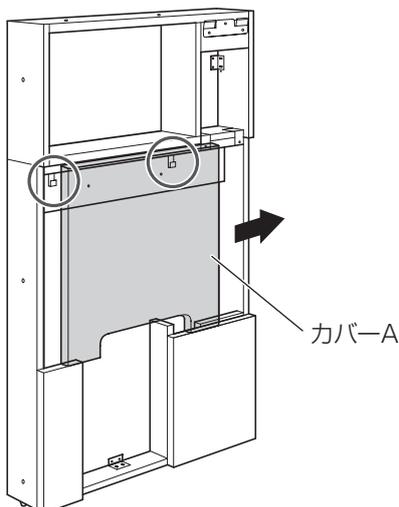
扉を外すと施工しやすくなります。



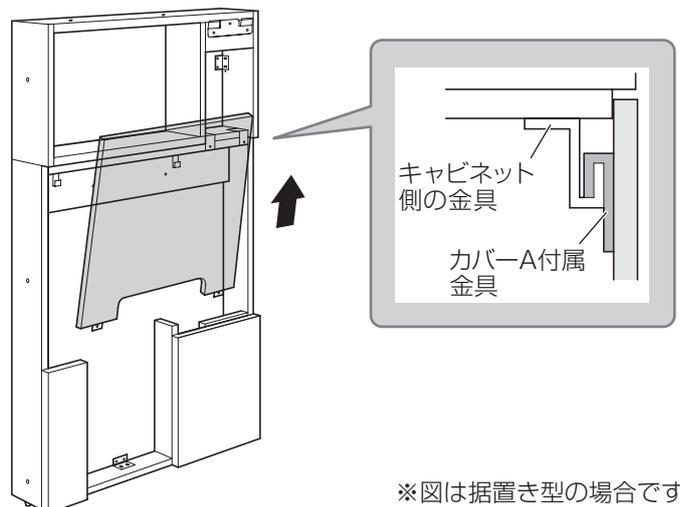
カバーAの取り外しかた

梱包時は、カバーAはキャビネットに付属しています。先にカバーAを取り外してから、施工してください。

① 横にスライドさせる



② 引き上げる



※図は据置き型の場合です。

アラウーノ施工型紙基準位置および床フランジ向きの確認

床排水

アラウーノ施工型紙の基準位置および、床フランジの向きにご確認ください。
排水芯によっては、床フランジを反転して使用する場合があります。

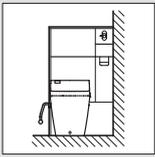
排水芯	型紙基準位置	床フランジ向き
据置き型 200 mmの場合 フロート型 265 mmの場合		<p>*1…据置き型：200、フロート型：265</p>
据置き型 280 mmの場合 フロート型 345 mmの場合		<p>*2…据置き型：280、フロート型：345</p>
据置き型 385～550 mmの場合 フロート型 450～615 mmの場合	<p>*3…据置き型：80 フロート型：145</p>	<p>アラウーノ施工型紙を左図のようにずらした位置でリフォーム用配管をカットしてください。</p>

壁排水

背面キャビネット本体を設置する前に、アラウーノ便器用固定片を固定してください。

※背面タイプ本体キャビネットを設置後に固定片を取り付けると、型紙とキャビネットが干渉します。

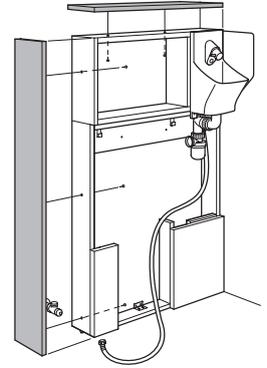
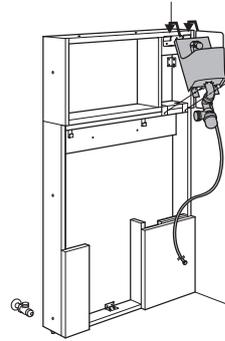
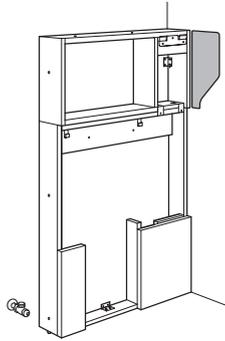
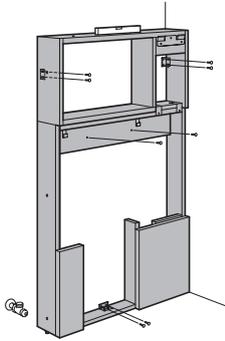
排水ピッチ	設置手順
後ろ抜き(据置き型) ●100～120 mmの場合 ●135～155 mmの場合 ※135～155mmの場合は台輪使用。 ※排水ジョイントSを使用してください。	<p>アラウーノ便器用固定片</p>
横抜き(フロート型) ●100～120 mmの場合 ●135～155 mmの場合 ※135～155mmの場合は台輪使用。 ※排水ジョイントLを使用してください。	



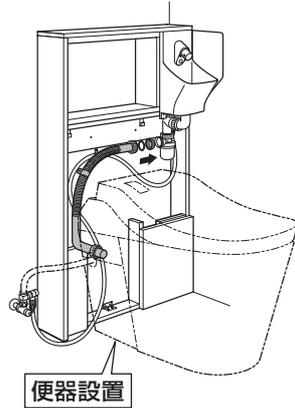
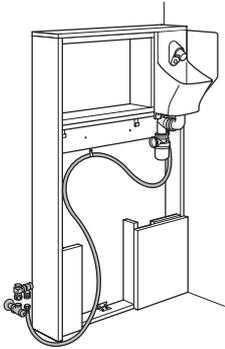
据置き型

施工チャート

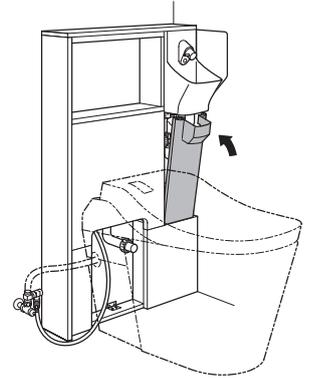
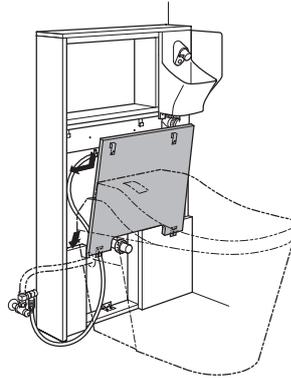
- 1 キャビネットの取り付け → 2 水はね防止プレートの取り付け → 3 手洗いボールの取り付け → 4 ゲートの取り付け



- 5 給水ホースの取り付け → 6 便器と接続する → 7 カバーAの取り付け → 8 カバーBの取り付け

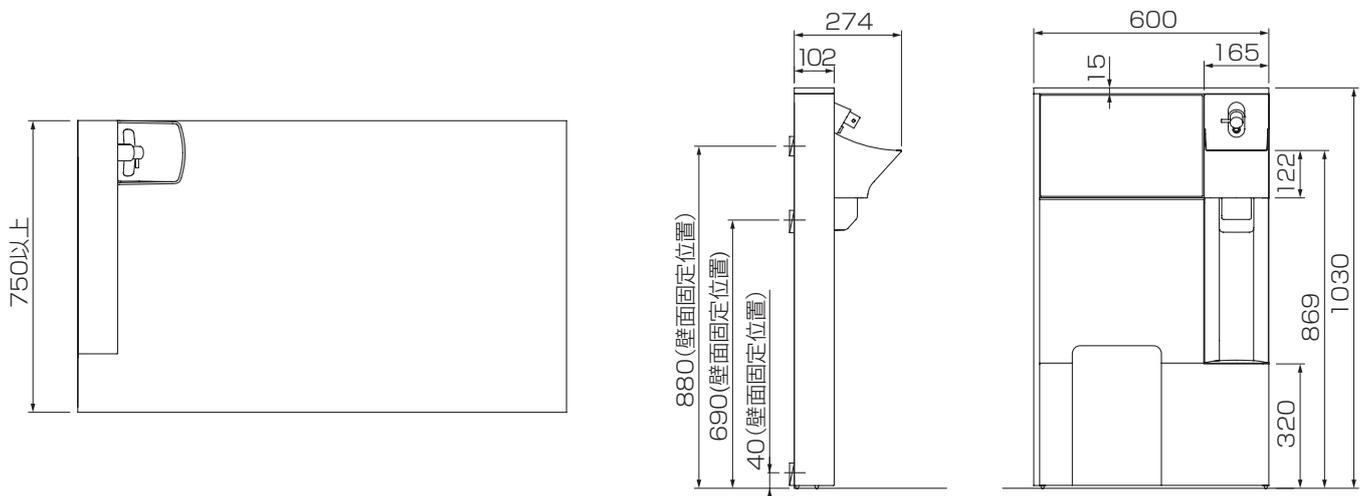


便器設置

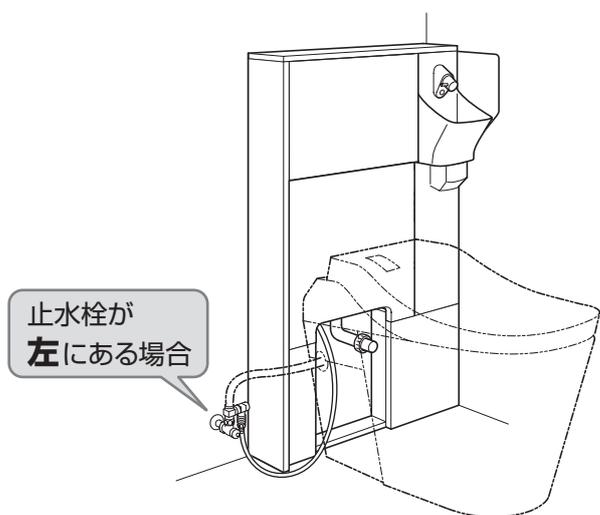


製品寸法図

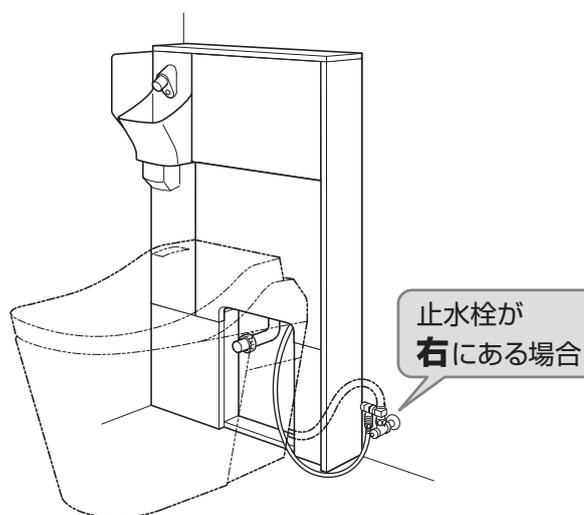
〔寸法単位：mm〕



R仕様

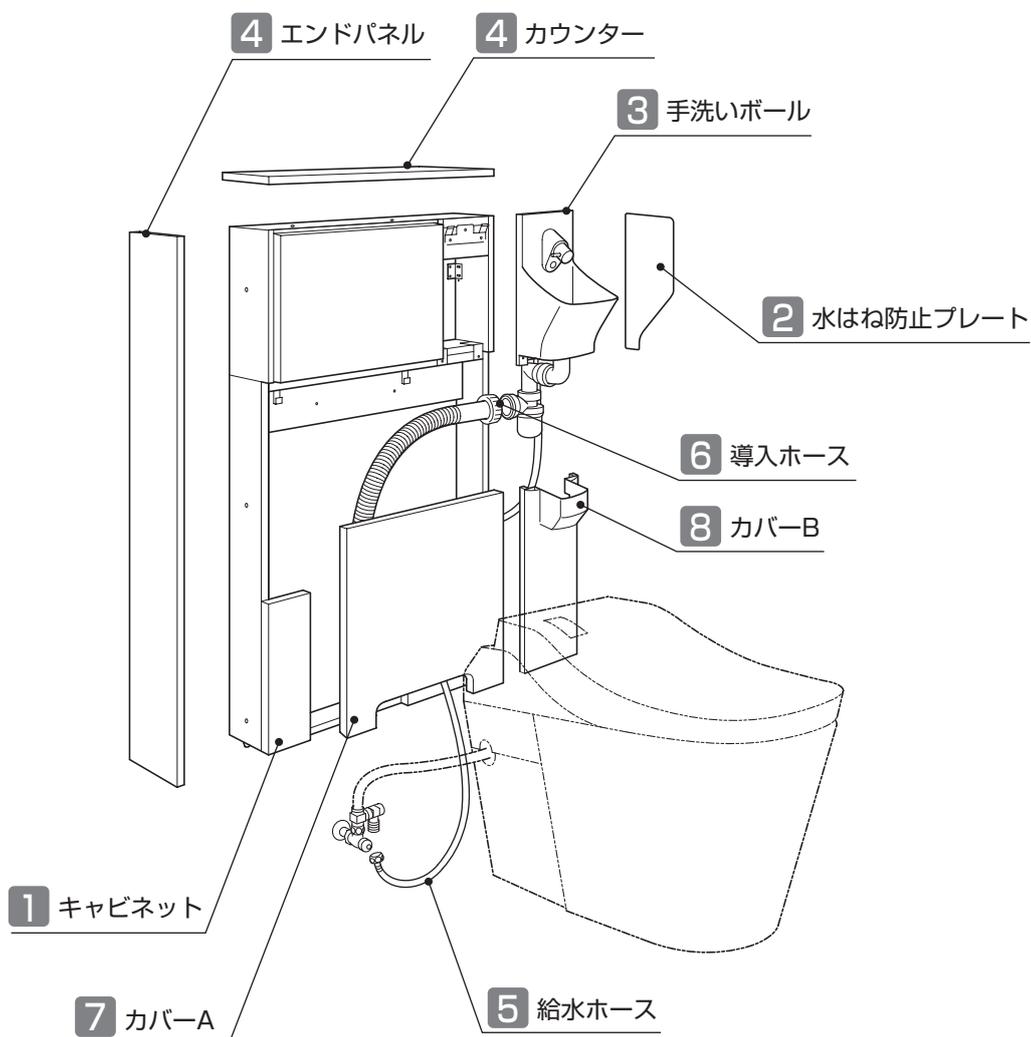


L仕様



●本書はR仕様のイラストで説明しています。L仕様の場合は対称となります。

構成図

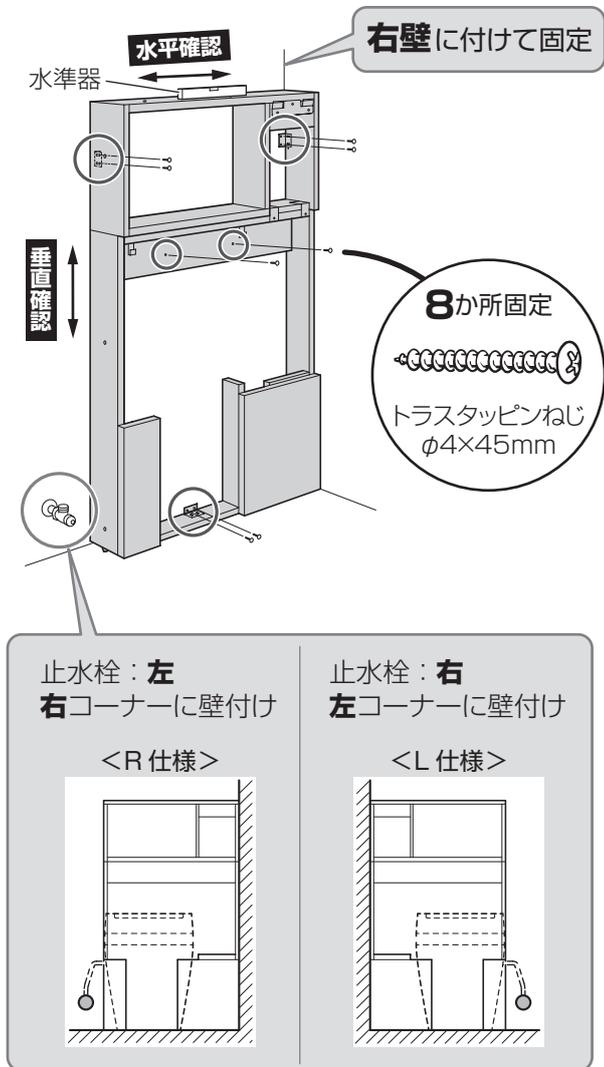


施工手順

据置き型

1

キャビネットを壁面に固定する



⚠ 注意

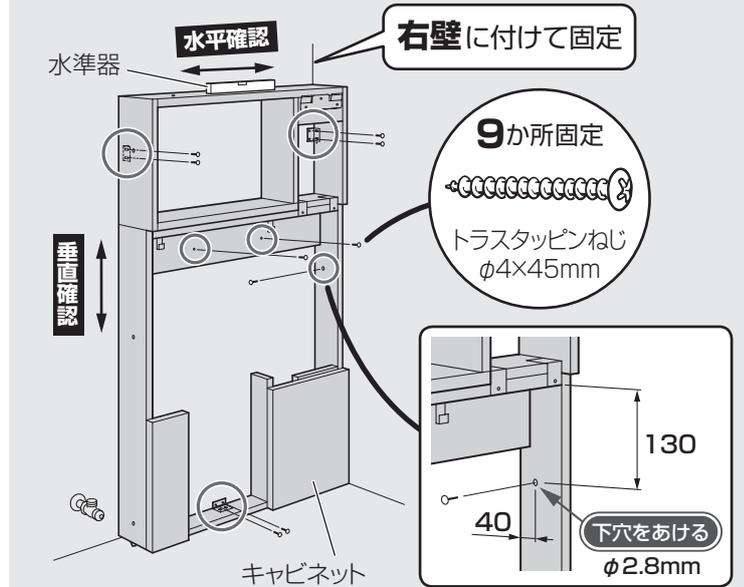


必ず守る

壁面固定位置の壁面強度が十分あることを確認する
石こうボードの場合は、アンカープラグを打ち込んでから壁面固定する
また、ねじ固定を指定の個所に1か所追加する
十分な強度がない場合は、12mm以上の合板で補強する
落下によるけがの原因となります。

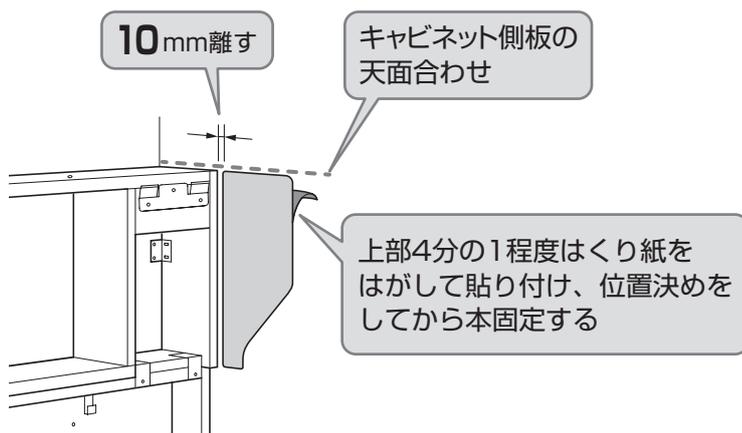
石こうボードの場合

φ6mmの下穴を開けて、アンカー(9か所)を打ち込んでから壁面固定してください。



2

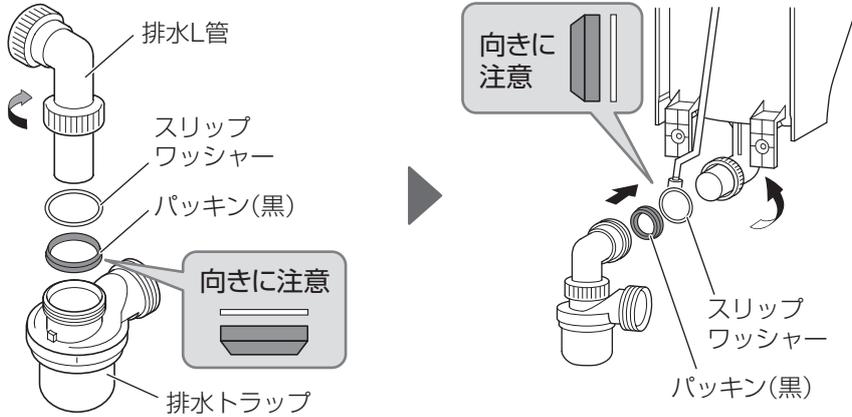
水はね防止プレートを取り付ける



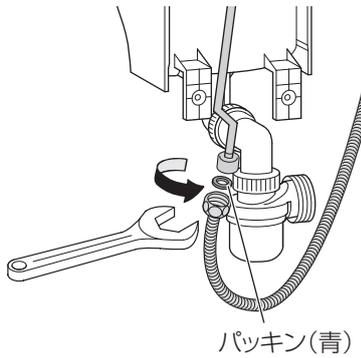
3 手洗いボールを取り付ける

手動・自動水栓共通

1 配管の接続



2 給水ホースの接続

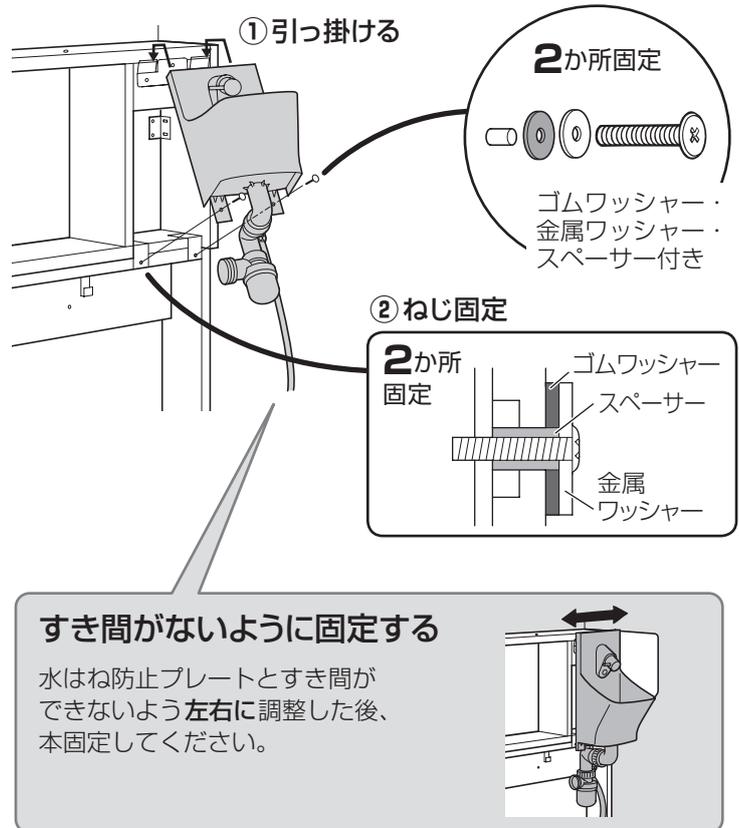


自動水栓の場合

コントロールユニットを取り付けてから給水ホースを取り付けます。

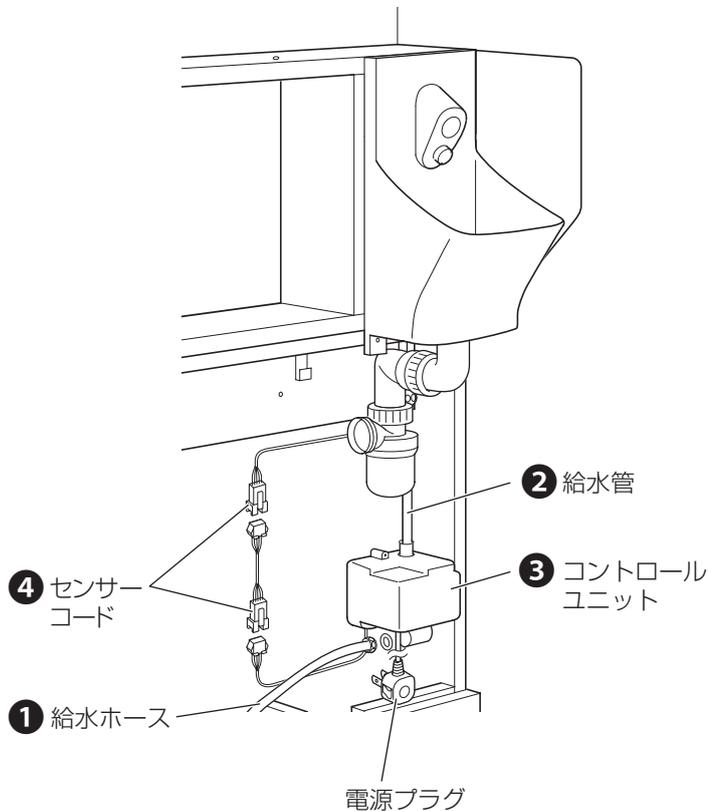
手順は、16ページ参照

3 手洗いボールを取り付ける



施工手順(据置き型)

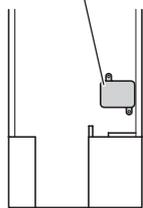
コントロールユニットの取り付け 自動水栓のみ



■取り付け位置

R仕様

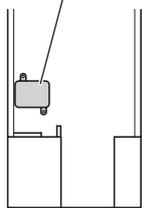
コントロールユニット



向かって 右側

L仕様

コントロールユニット



向かって 左側

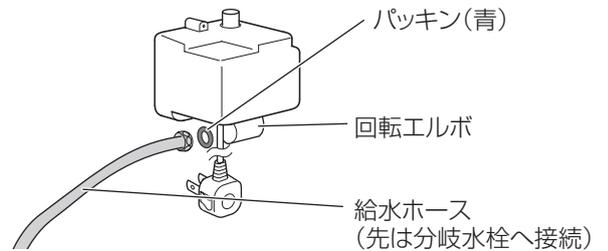
⚠ 警告



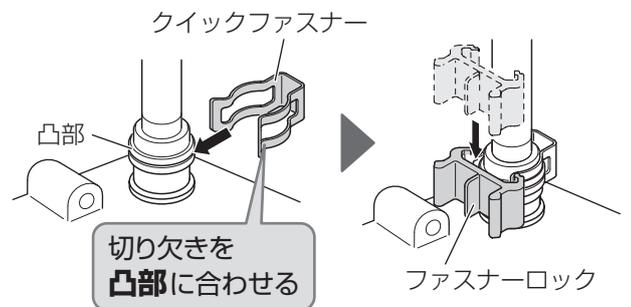
必ず守る

- 自動水栓タイプの場合、電源は必ず交流100Vの専用回路が設けられていることを確認する
感電や火災の原因となります。
- 電気工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う
漏電・火災・水漏れの原因となります。

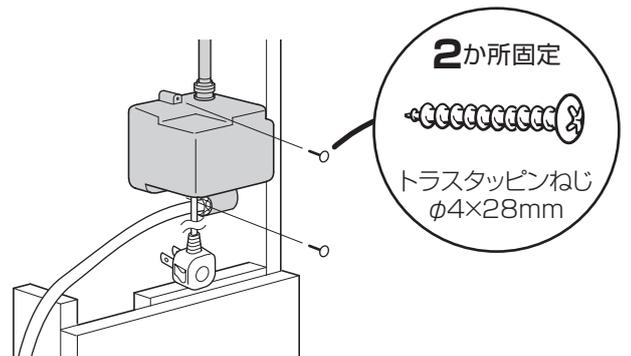
① 給水ホースの取り付け



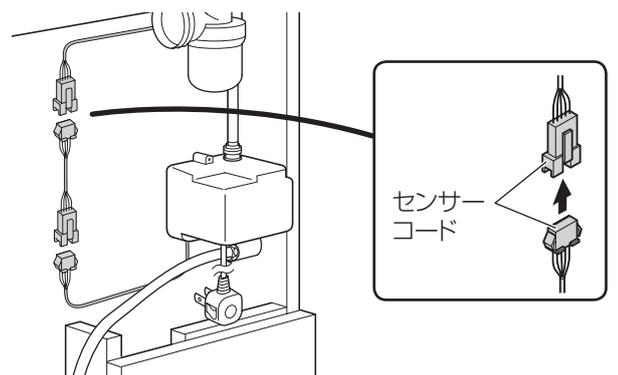
② 給水管とコントロールユニットの接続



③ コントロールユニットの固定

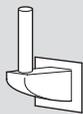


④ センサーコードの接続



オプション

ペーパーストッカーを取り付ける場合は、
エンドパネルを付ける前に取り付けてください。



施工前
の準備
5ページ

施工手順
12ページ

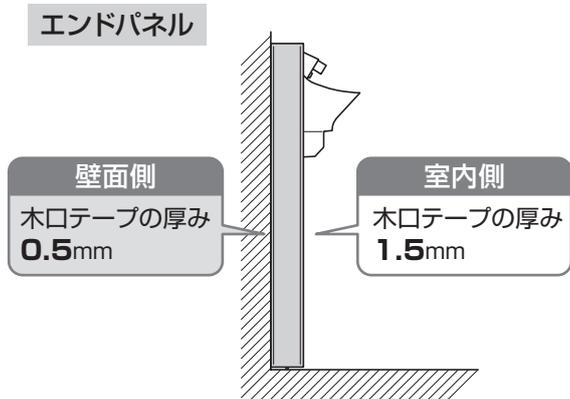
扉の取り付け
かた/試運転
32ページ

施工後
の確認
33ページ

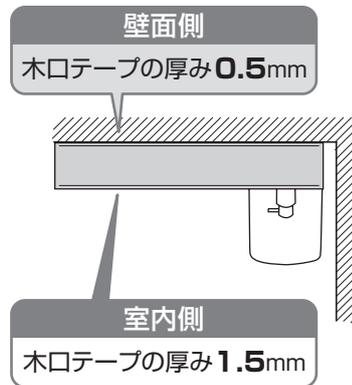
4

エンドパネルとカウンターを取り付ける

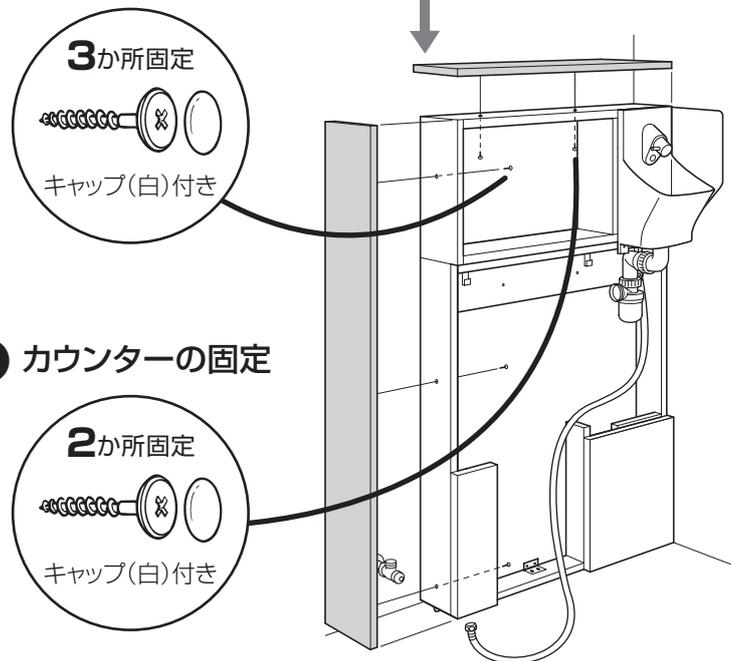
1 部材の向きを確認する



カウンター



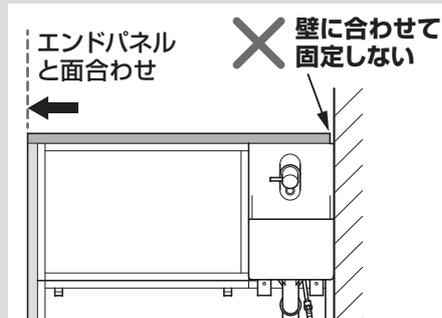
2 エンドパネルの固定



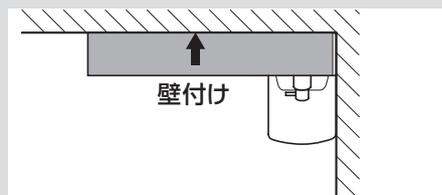
すき間がないように固定する

エンドパネルとカウンターのねじを仮固定して、すき間ができないよう調整した後、本固定してください。

■左右方向



■奥行き方向

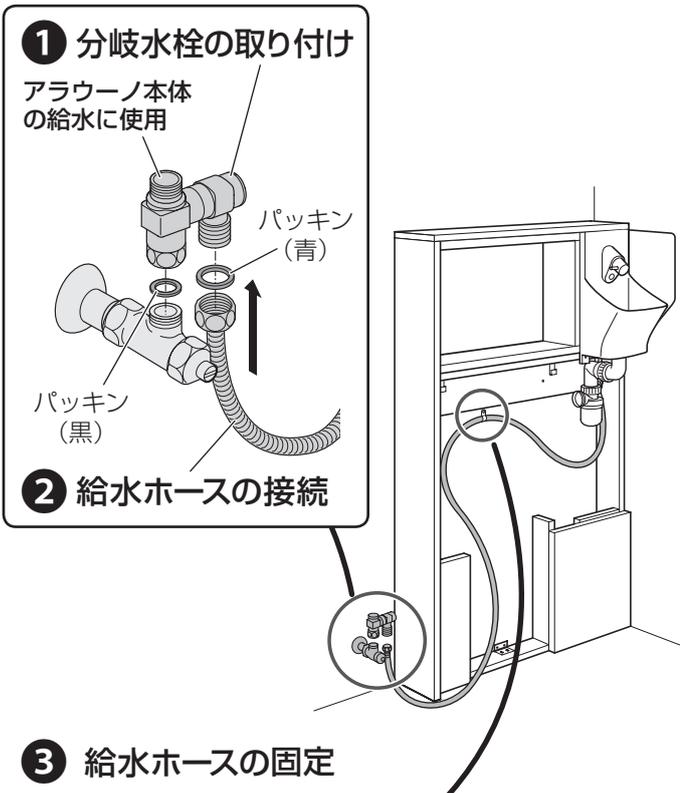


施工手順(据置き型)

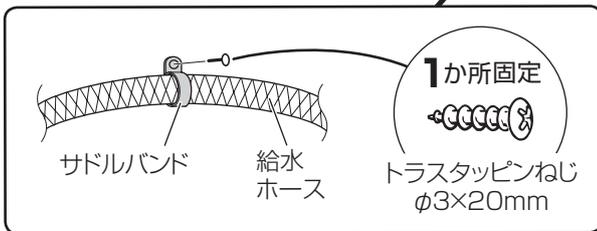
5

給水ホースを止水栓に接続する

※必ず止水栓を閉めてから作業してください。



③ 給水ホースの固定



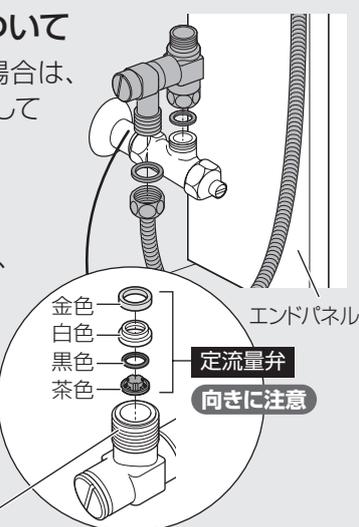
分岐水栓の向きについて

エンドパネルに当たる場合は、分岐水栓を外向きに回して取り付けてください。

定流量弁について

定流量弁が外れた場合は、必ず元に戻してください。定流量弁は一定流量を保持するための部品です。正しく取り付けないと、流量が増えるなどの問題が生じます。

分岐水栓(手洗い給水側)

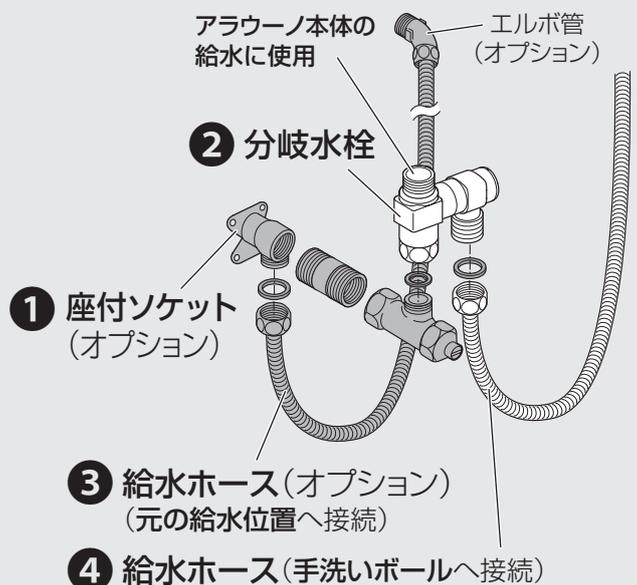
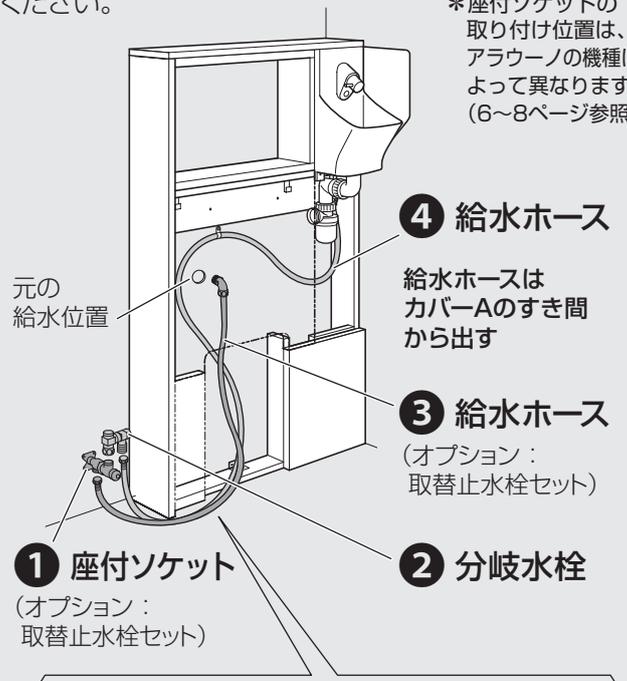


元の給水位置がキャビネットの取付範囲にある場合

①アラウーノ用止水栓を取り付けた座付ソケット(オプション品)を壁面もしくは床面に取り付け*、②分岐水栓の取り付け、③元の給水位置への接続、④給水ホースの取り付けの順にそれぞれ施工してください。



*座付ソケットの取り付け位置は、アラウーノの機種によって異なります。(6~8ページ参照)



6 便器と接続する

注意

必ず守る

必ず指定のパッキンを使用する
施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

CH150/CH130と接続する場合

※イラストは、CH150で説明しています。

1 サイドカバー、リアカバーと排水キャップの取り外し

*取り外した後は絶対に使用しない
導入ホースに同梱のパッキンを使用して
ください。

2 リアカバーの穴加工

■CH150

■CH130

カバー裏面の
十字マークに
合わせて穴加工

3 導入ホースと便器の接続

パッキンとスリップワッシャーは、袋ナットの中に入る位置までずらしてください。

スリップワッシャー 袋ナット
(水漏れのないように
しっかり締めつける)

4 便器の取り付け

11ページを参照いただき、施工方法はそれぞれのアラウーノの施工説明書にしたがって行ってください。

5 導入ホースと手洗いボールの接続

配管の勾配について

台輪を取り付け、導入ホースが逆勾配になる場合は、導入ホースの排水トラップ側をカットしてください。

導入ホースをサドルバンドで固定して、給水ホースの上から押さえ付けてください。

次ページにつづく

19

施工手順(据置き型)

施工手順

据置き型

6

便器と接続する(つづき)

注意

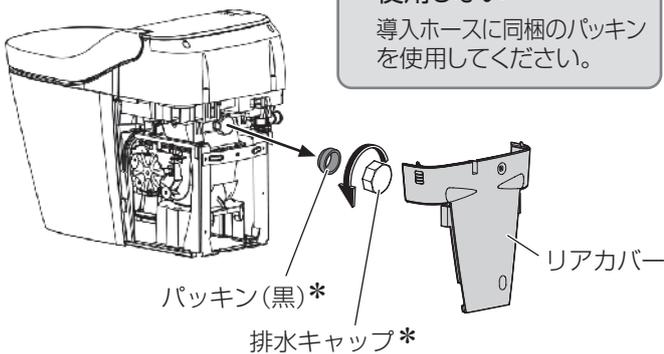
必ず守る

必ず指定のパッキンを使用する
施工に不備があると水漏れで家財
などをぬらすおそれがあります。

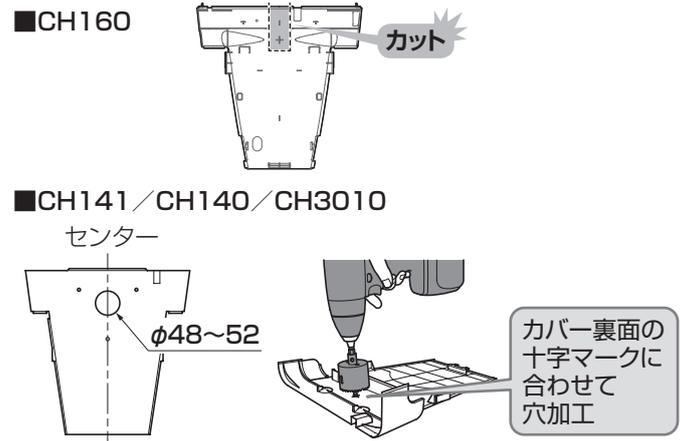
CH160 / CH141 / CH140 / CH3010と接続する場合

※イラストは、CH141で説明しています。

1 リアカバーと排水キャップの取り外し

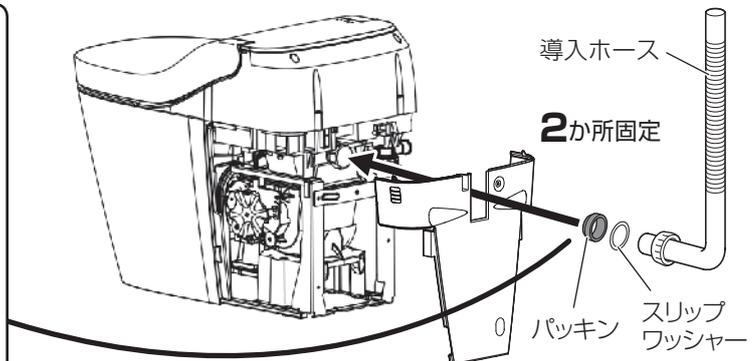
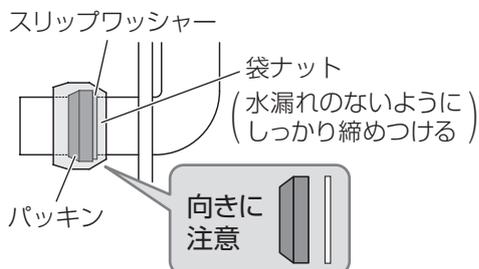


2 リアカバーの穴加工



3 導入ホースと便器の接続

パッキンとスリップワッシャーは、袋ナットの中に入る位置までずらしてください。



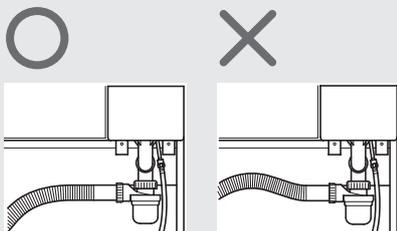
4 便器の取り付け

11ページを参照いただき、施工方法はそれぞれのアラウーノの施工説明書にしたがって行ってください。

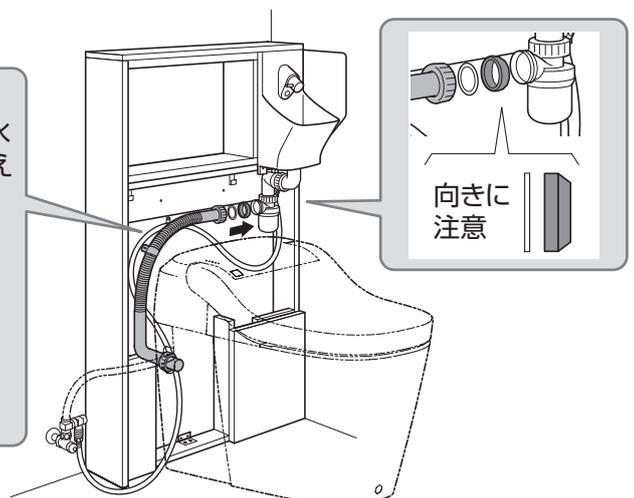
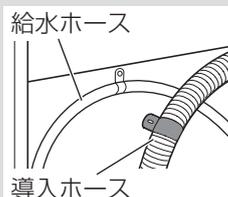
5 導入ホースと手洗いボールの接続

配管の勾配について

台輪を取り付け、導入ホースが逆勾配になる場合は、導入ホースの排水トラップ側をカットしてください。

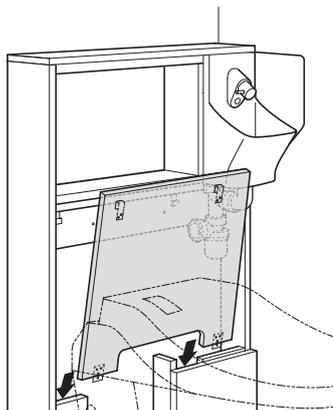


導入ホースをサドルバンドで固定して、給水ホースの上から押さえ付けてください。



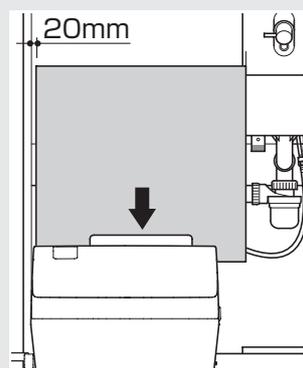
7 カバーAを取り付ける

① 木口に乗せる

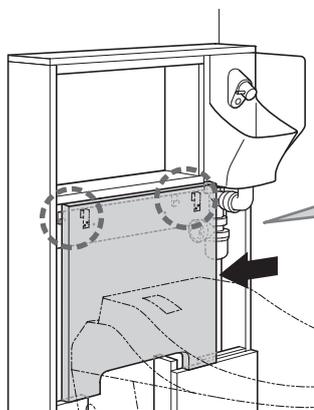


カバーAの差しかたについて

エンドパネルより20mmの位置を目安に差し込んでください。



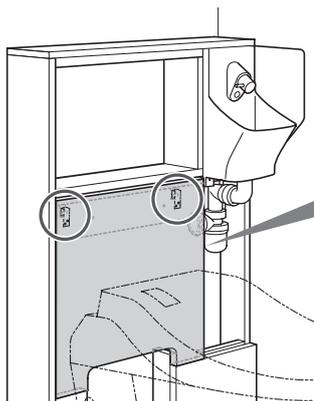
② 左にスライドして金具をかん合させる



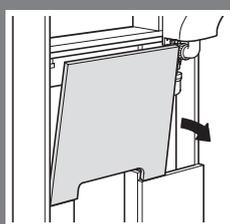
あててスライドする

キヤビネット側の金具
 カバーA付属金具

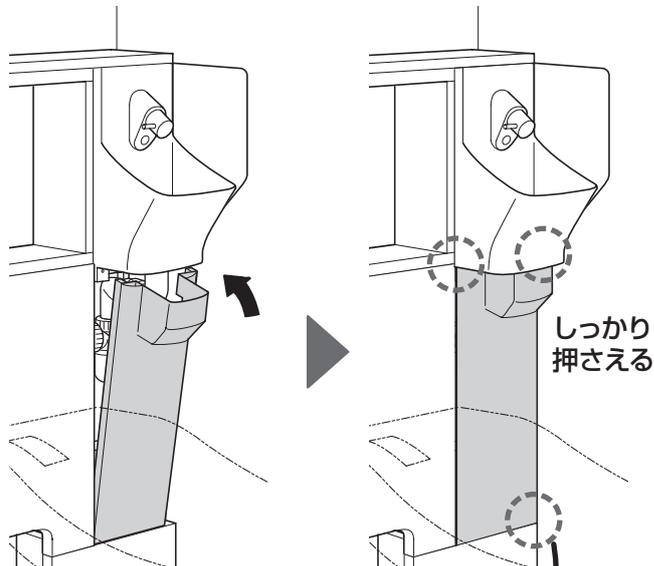
③ エンドパネルに当てる



×
 パネルが手前に倒れる
 → 金具に差し込んでいません。

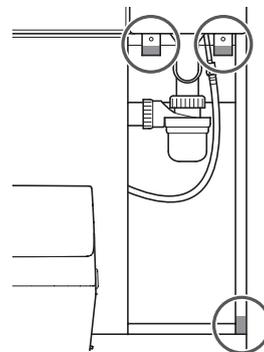


8 カバーBを取り付ける



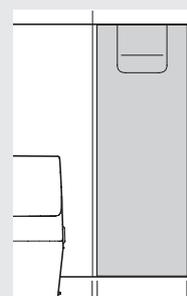
しっかり押さえる

キャビネットに3か所面ファスナーが取り付けられています。



すき間の調整について

カバーBはすき間を均等に空けて、しっかり押さえて取り付けてください。



均等に空ける

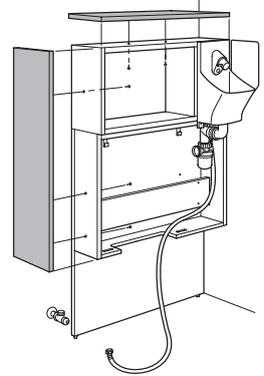
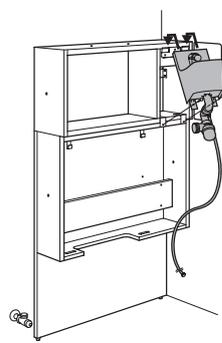
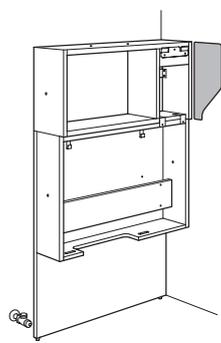
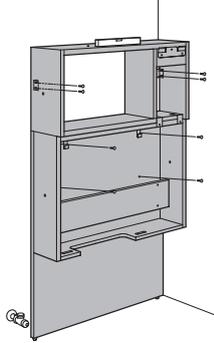
施工手順(据置き型)



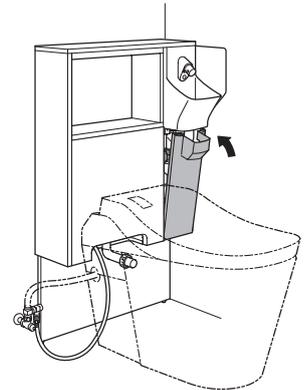
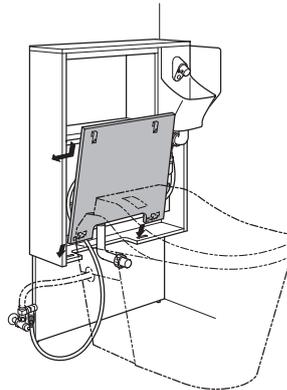
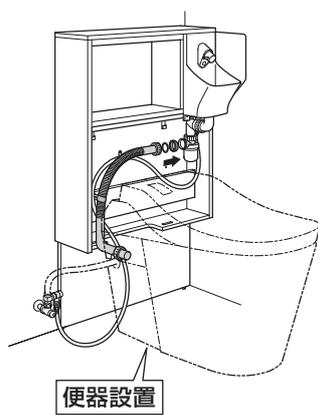
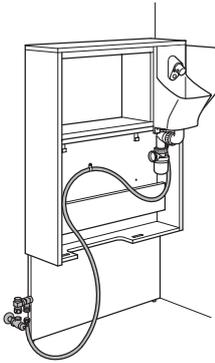
フロート型

施工チャート

- 1 キャビネットの取り付け → 2 水はね防止プレートの取り付け → 3 手洗いボールの取り付け → 4 ゲートの取り付け

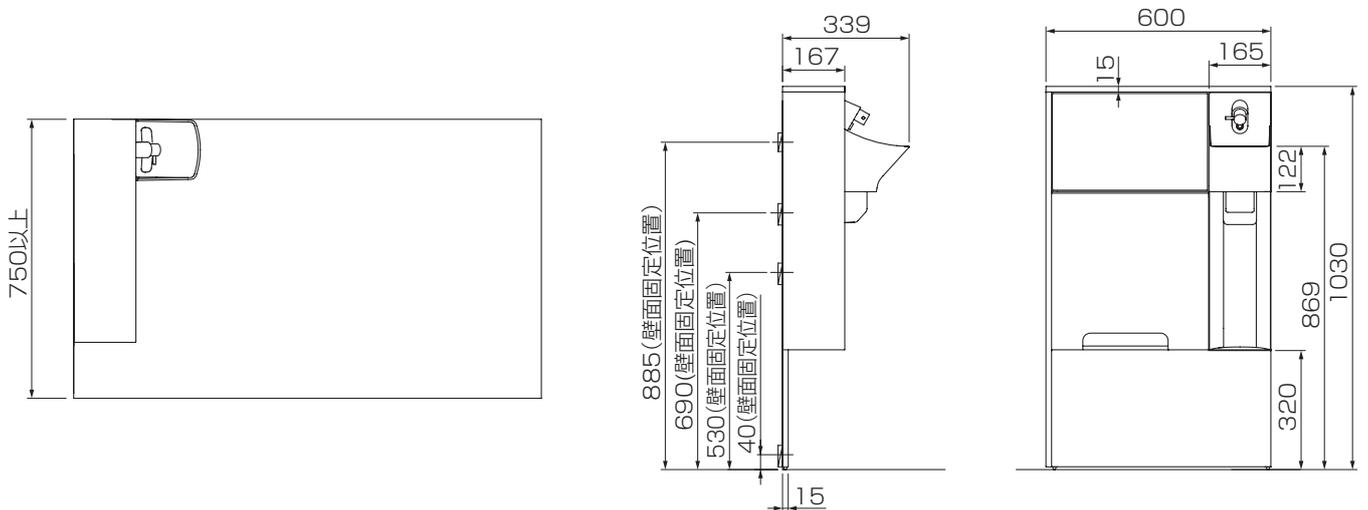


- 5 給水ホースの取り付け → 6 便器と接続する → 7 カバーAの取り付け → 8 カバーBの取り付け

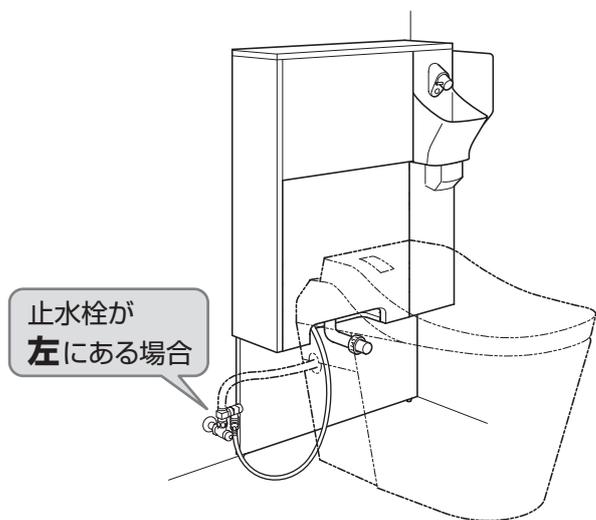


製品寸法図

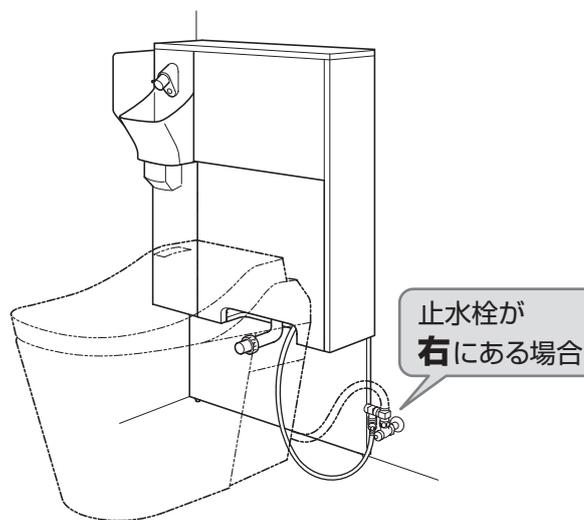
〔寸法単位：mm〕



R仕様

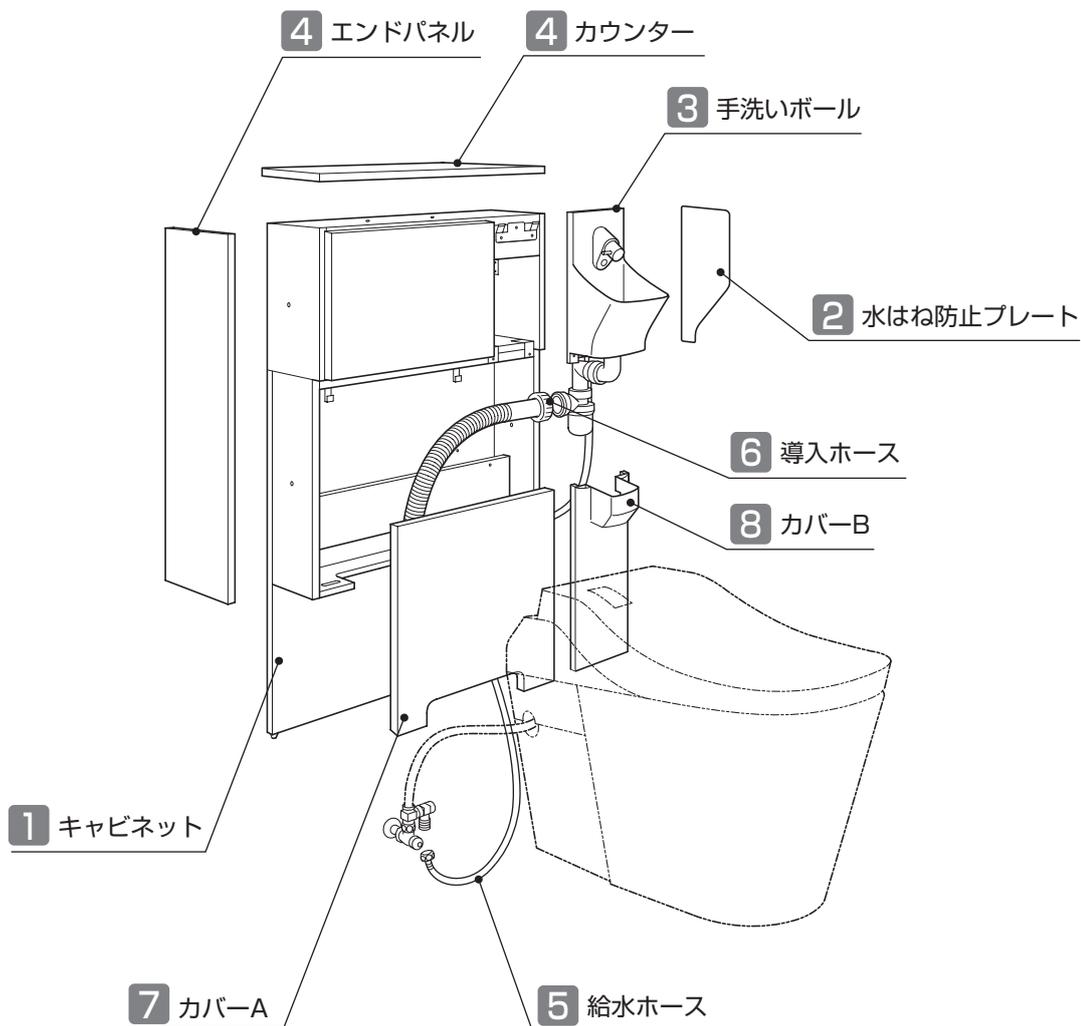


L仕様



●本書はR仕様のイラストで説明しています。L仕様の場合は対称となります。

構成図

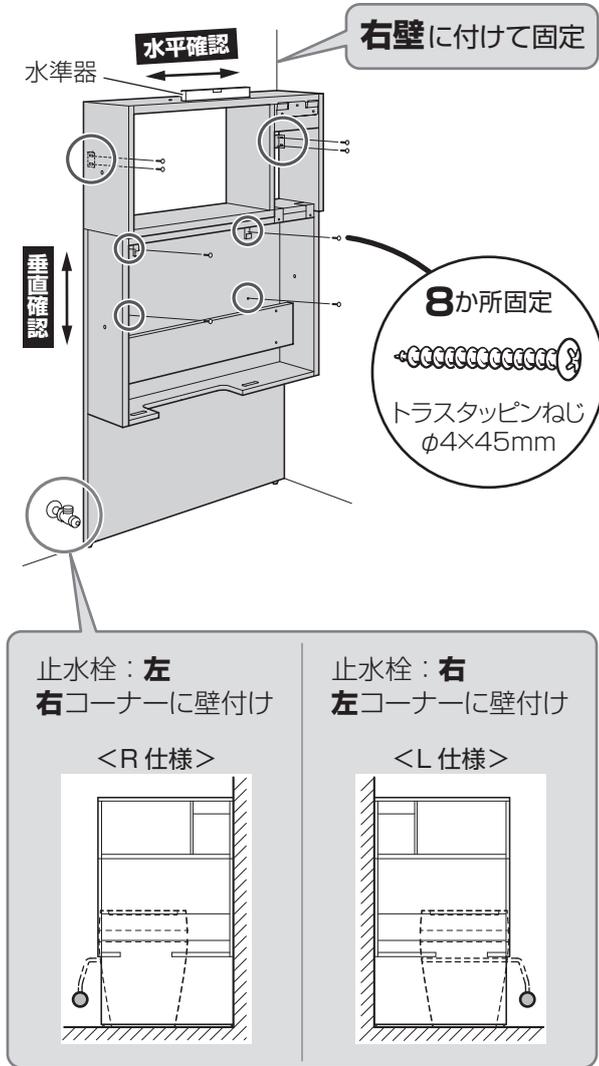


施工手順

フロート型

1

キャビネットを壁面に固定する



注意



必ず守る

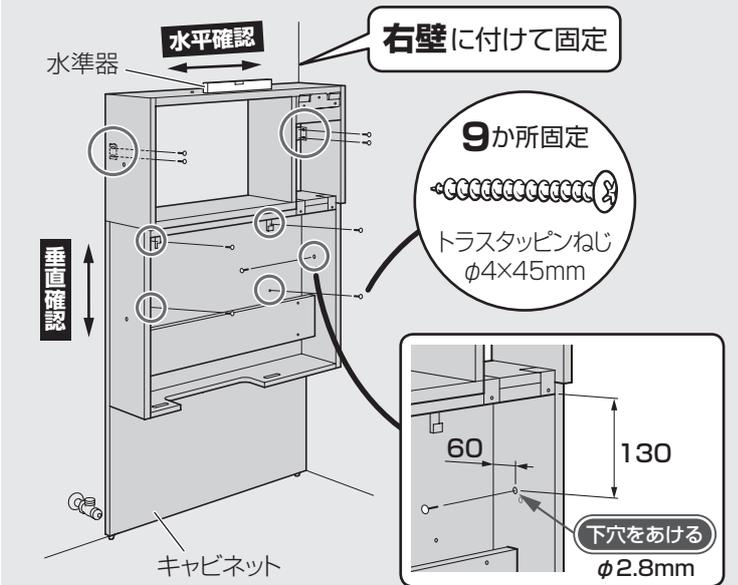
壁面固定位置の壁面強度が十分あることを確認する
石こうボードの場合は、アンカープラグを打ち込んでから壁面固定する

また、ねじ固定を指定の個所に1か所追加する
十分な強度がない場合は、12mm以上の合板で補強する

落下によるけがの原因となります。

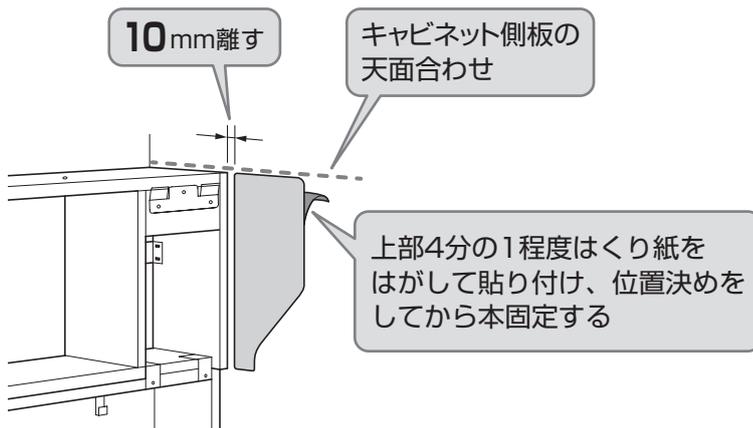
石こうボードの場合

φ6mmの下穴を開けて、アンカー(9か所)を打ち込んでから壁面固定してください。



2

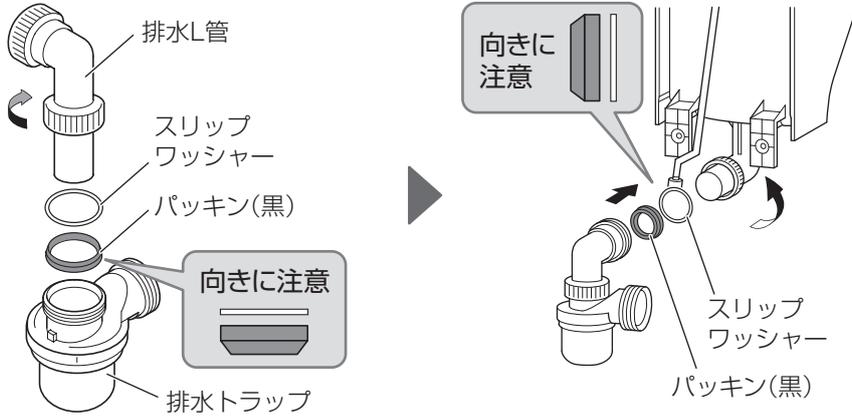
水はね防止プレートを取り付ける



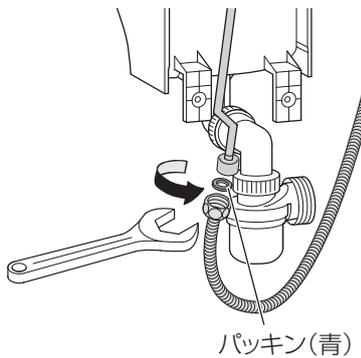
3 手洗いボールを取り付ける

手動・自動水栓共通

1 配管の接続

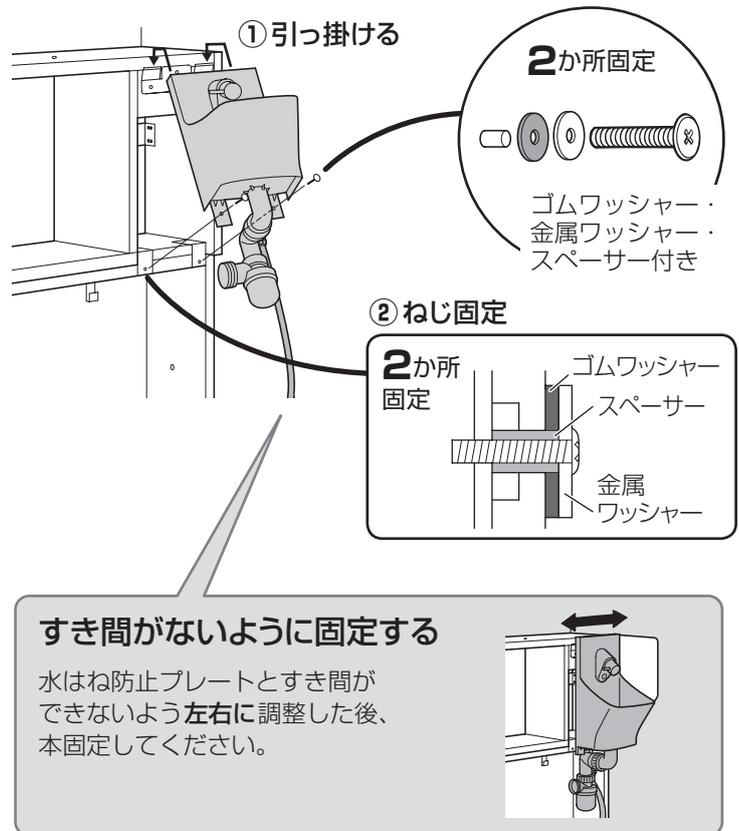


2 給水ホースの接続



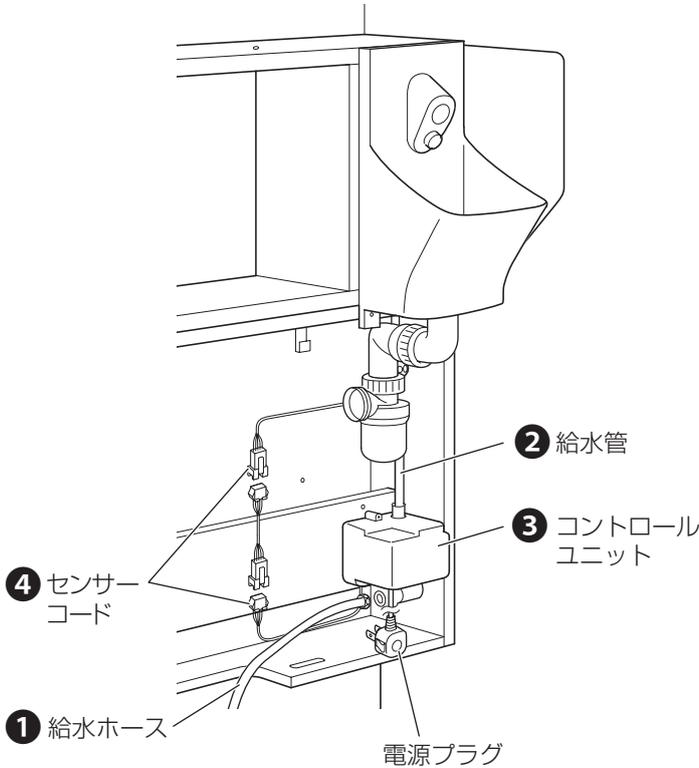
自動水栓の場合
 コントロールユニットを取り付けてから給水ホースを取り付けます。
 手順は、26ページ参照

3 手洗いボールを取り付ける

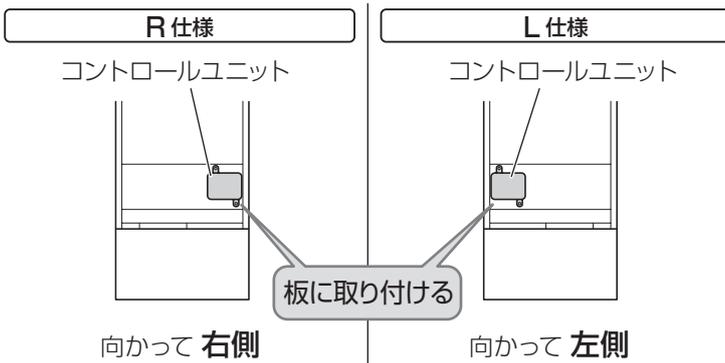


施工手順(フロート型)

コントロールユニットの取り付け 自動水栓のみ



■取り付け位置



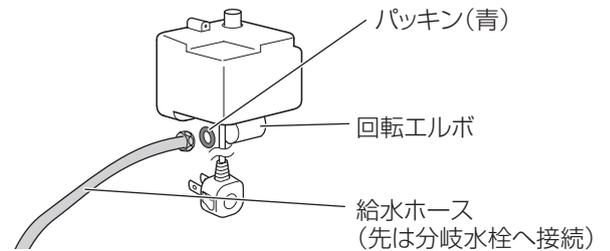
⚠ 警告



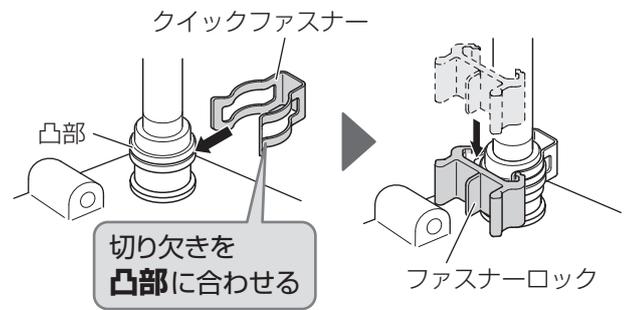
必ず守る

- 自動水栓タイプの場合、電源は必ず交流100Vの専用回路が設けられていることを確認する
感電や火災の原因となります。
- 電気工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う
漏電・火災・水漏れの原因となります。

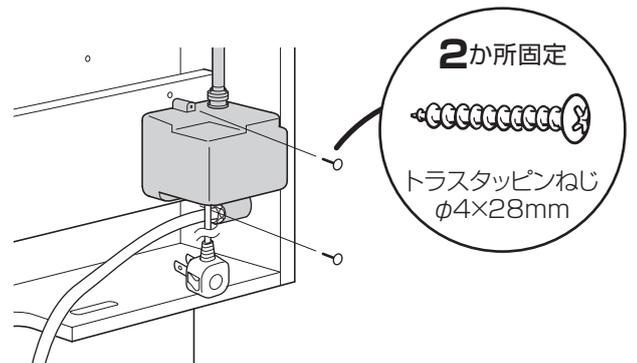
① 給水ホースの取り付け



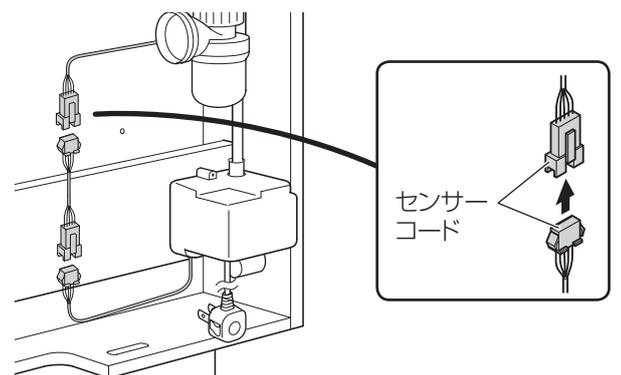
② 給水管とコントロールユニットの接続



③ コントロールユニットの固定



④ センサーコードの接続



オプション

ペーパーストッカーを取り付ける場合は、
エンドパネルを付ける前に取り付けてください。



施工前
の準備
5ページ

施工手順
12ページ

扉の取り付け
かた/試運転
32ページ

施工後
の確認
33ページ

4

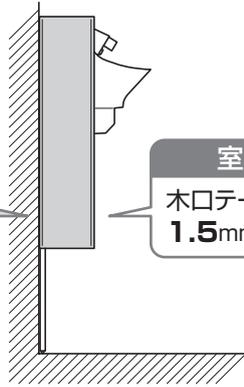
エンドパネルとカウンターを取り付ける

1 部材の向きを確認する

エンドパネル

壁面側

木口テープの厚み
0.5mm



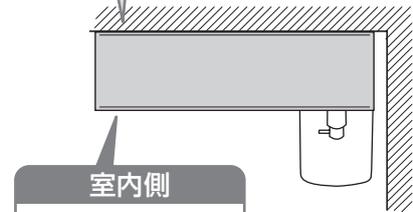
室内側

木口テープの厚み
1.5mm

カウンター

壁面側

木口テープの厚み **0.5mm**

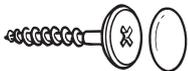


室内側

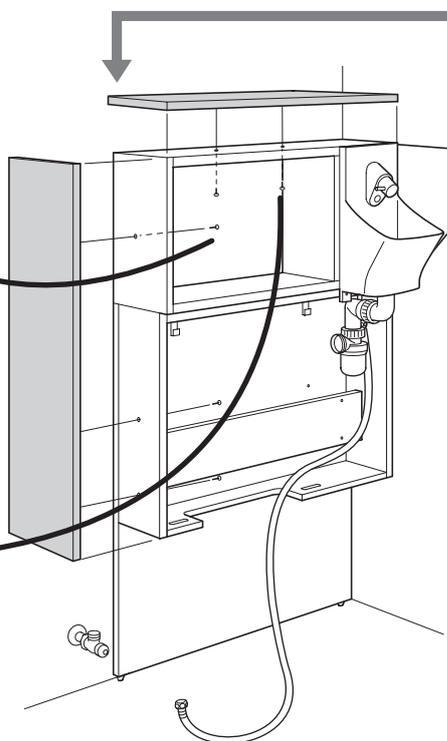
木口テープの厚み
1.5mm

2 エンドパネルの固定

3か所固定

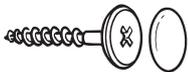


キャップ(白)付き



3 カウンターの固定

2か所固定



キャップ(白)付き

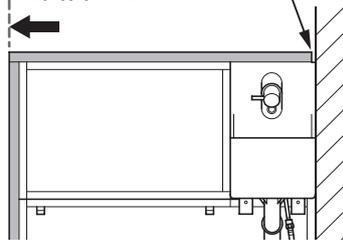
すき間がないように固定する

エンドパネルとカウンターのねじを仮固定して、すき間ができないよう調整した後、本固定してください。

■左右方向

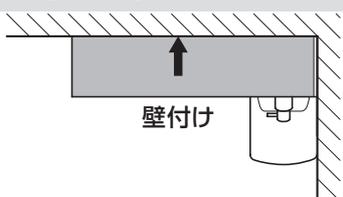
エンドパネルと面合わせ

✗ 壁に合わせて固定しない



■奥行き方向

壁付け



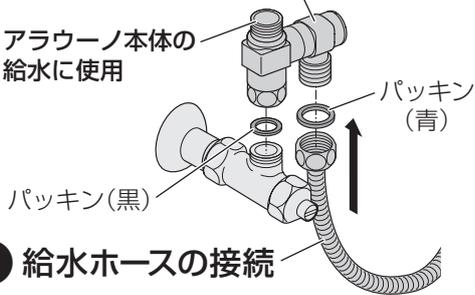
5

給水ホースを止水栓に接続する

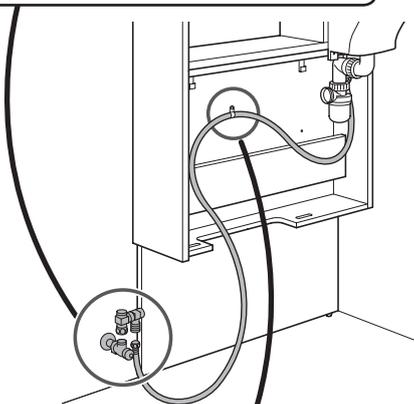
※必ず止水栓を閉めてから作業してください。

1 分岐水栓の取り付け

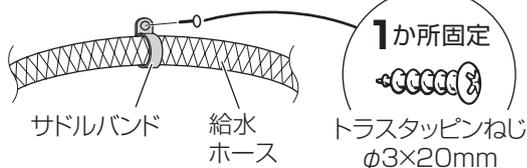
アラウーノ本体の
給水に使用



2 給水ホースの接続



3 給水ホースの固定

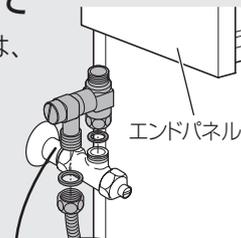


1か所固定

トラスタップインねじ
φ3×20mm

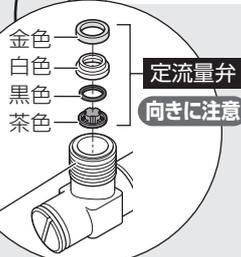
分岐水栓の向きについて

エンドパネルに当たる場合は、
分岐水栓を外向きに回して
取り付けてください。



定流量弁について

定流量弁が外れた場合は、
必ず元に戻してください。
定流量弁は一定流量を
保持するための部品です。
正しく取り付けないと、
流量が増えるなどの
問題が生じます。



分岐水栓(手洗い給水側)

元の給水位置がキャビネットの取付範囲にある場合

- 1 アラウーノ用止水栓を取り付けた座付ソケット(オプション品)を壁面もしくは床面に取り付け、
- 2 分岐水栓の取り付け、
- 3 元の給水位置への接続、
- 4 給水ホースの取り付けの順にそれぞれ施工してください。

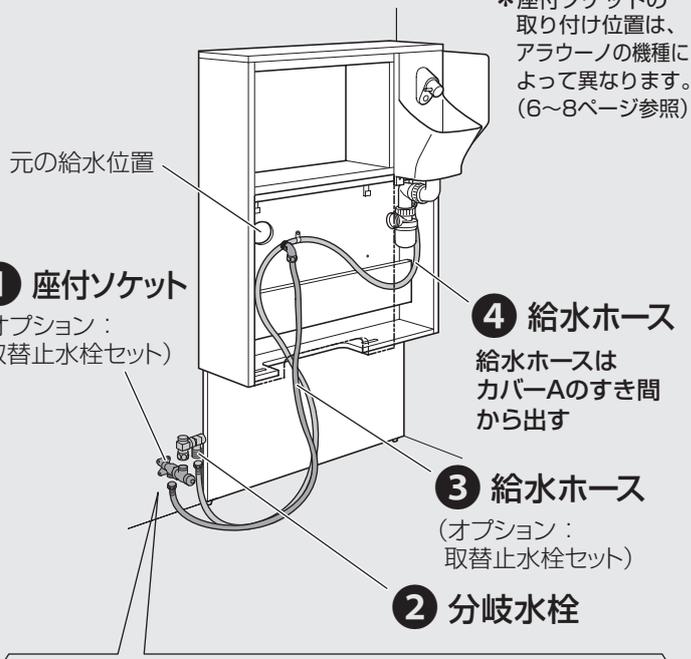
取替止水栓セット
CHA01T



*座付ソケットの
取り付け位置は、
アラウーノの機種に
よって異なります。
(6~8ページ参照)

1 座付ソケット

(オプション：
取替止水栓セット)



4 給水ホース

給水ホースは
カバーAのすき間
から出す

3 給水ホース

(オプション：
取替止水栓セット)

2 分岐水栓

アラウーノ本体の
給水に使用

エルボ管
(オプション)

2 分岐水栓

1 座付ソケット

(オプション)

3 給水ホース(オプション)

(元の給水位置へ接続)

4 給水ホース(手洗いボールへ接続)

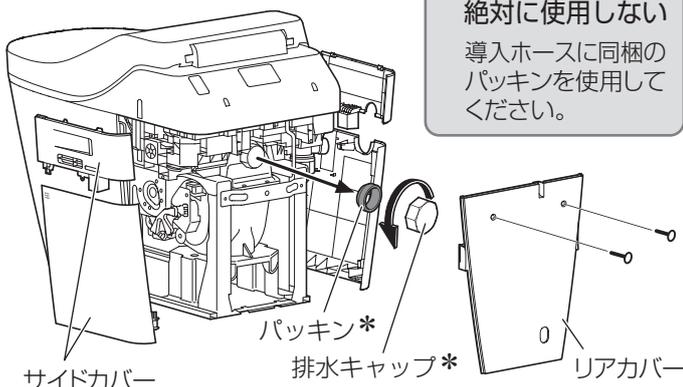
6 便器と接続する

⚠ 注意 **必ず守る** 必ず指定のパッキンを使用する
 施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

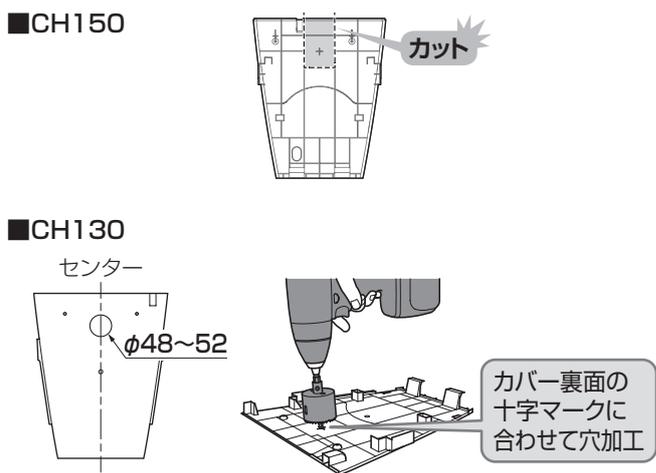
CH150/CH130と接続する場合

※イラストは、CH150で説明しています。

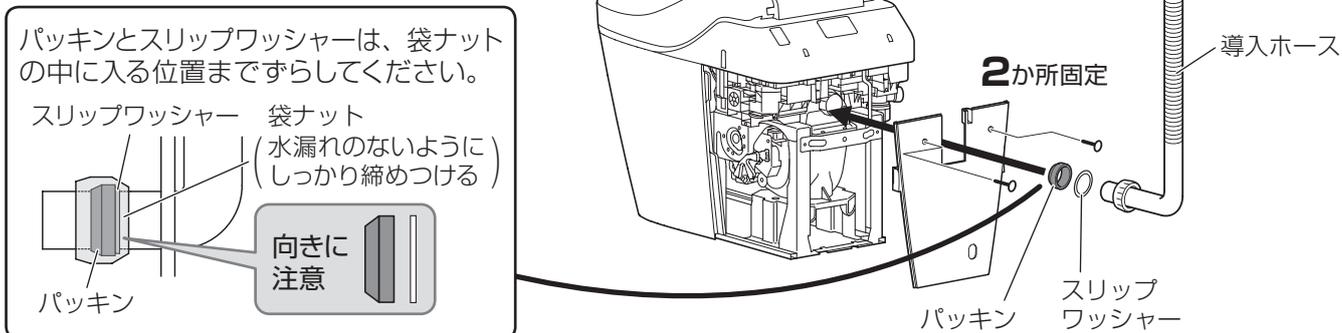
1 サイドカバー、リアカバーと排水キャップの取り外し



2 リアカバーの穴加工

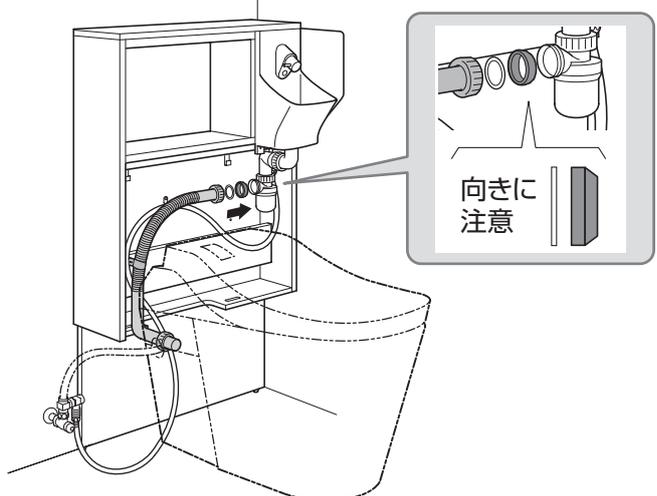
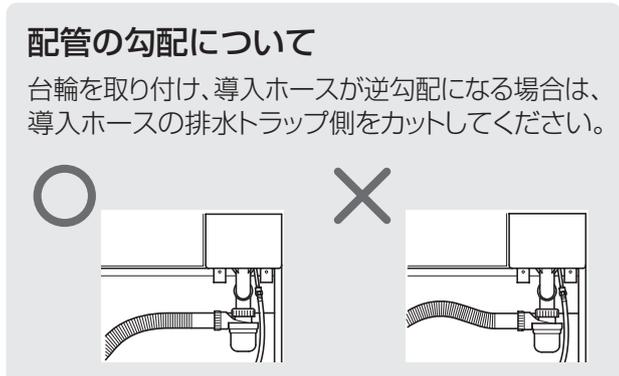


3 導入ホースと便器の接続



4 便器の取り付け 11ページを参照いただき、施工方法はそれぞれのアラウーノの施工説明書にしたがって行ってください。

5 導入ホースと手洗いボールの接続



施工手順(フローター型)

6

便器と接続する(つづき)



注意



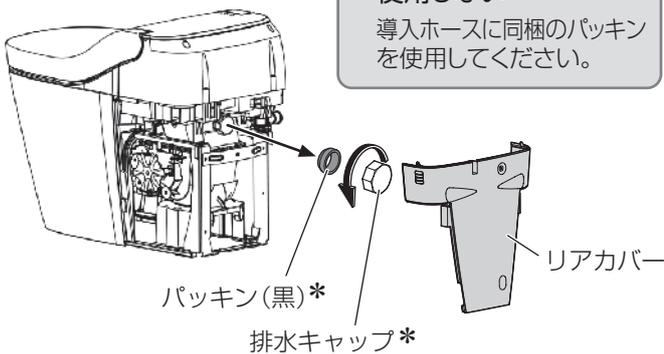
必ず守る

必ず指定のパッキンを使用する
施工に不備があると水漏れで家財
などをぬらすおそれがあります。

CH160 / CH141 / CH140 / CH3010と接続する場合

※イラストは、CH141で説明しています。

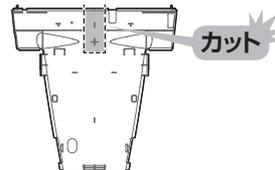
1 リアカバーと排水キャップの取り外し



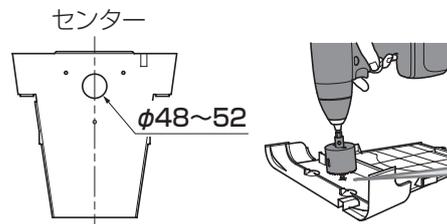
*取り外した後は絶対に
使用しない
導入ホースに同梱のパッキン
を使用してください。

2 リアカバーの穴加工

■CH160



■CH141 / CH140 / CH3010



カバー裏面の
十字マークに
合わせて
穴加工

3 導入ホースと便器の接続

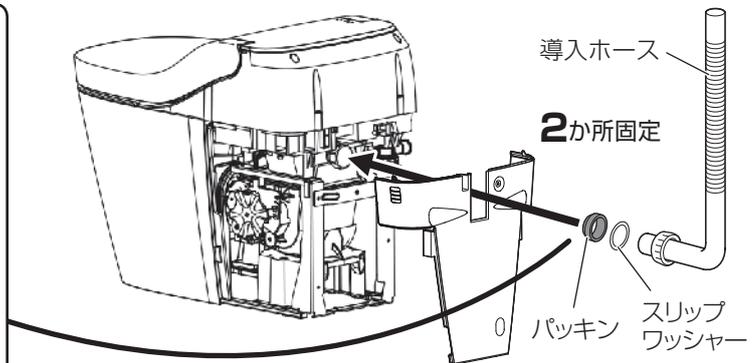
パッキンとスリップワッシャーは、袋ナットの中に入る位置までずらしてください。

スリップワッシャー

袋ナット
(水漏れのないように
しっかり締めつける)

パッキン

向きに
注意



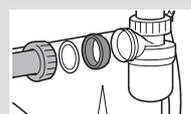
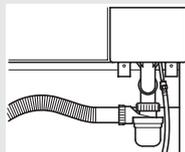
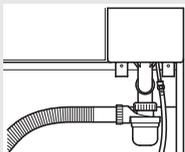
4 便器の取り付け

11ページを参照いただき、施工方法はそれぞれのアラウーノの施工説明書にしたがって行ってください。

5 導入ホースと手洗いボールの接続

配管の勾配について

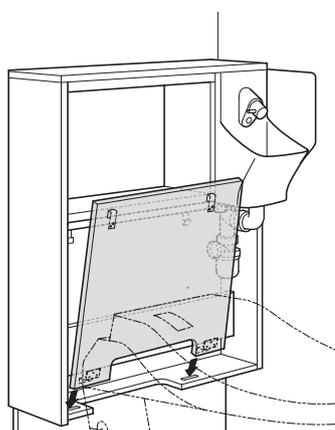
台輪を取り付け、導入ホースが逆勾配になる場合は、導入ホースの排水トラップ側をカットしてください。



向きに
注意

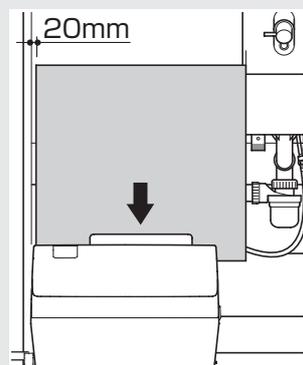
7 カバーAを取り付ける

1 キャビネットの穴に金具を差す

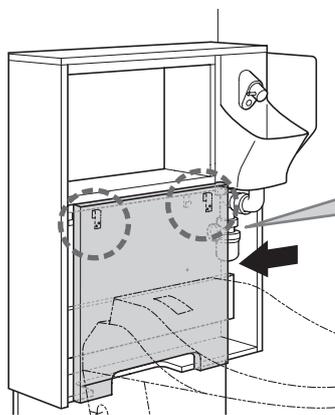


カバーAの差しかたについて

エンドパネルより20mmの位置を目安に差し込んでください。

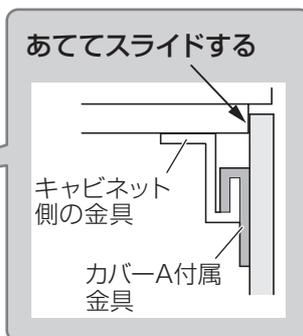


2 左にスライドして金具をかん合させる

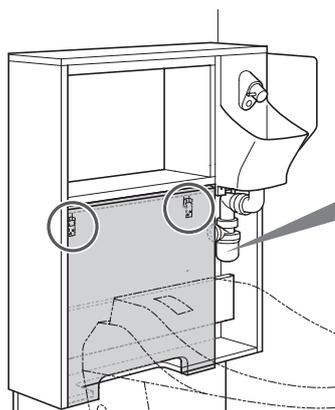


あててスライドする

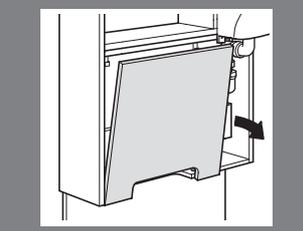
キャビネット側の金具
カバーA付属金具



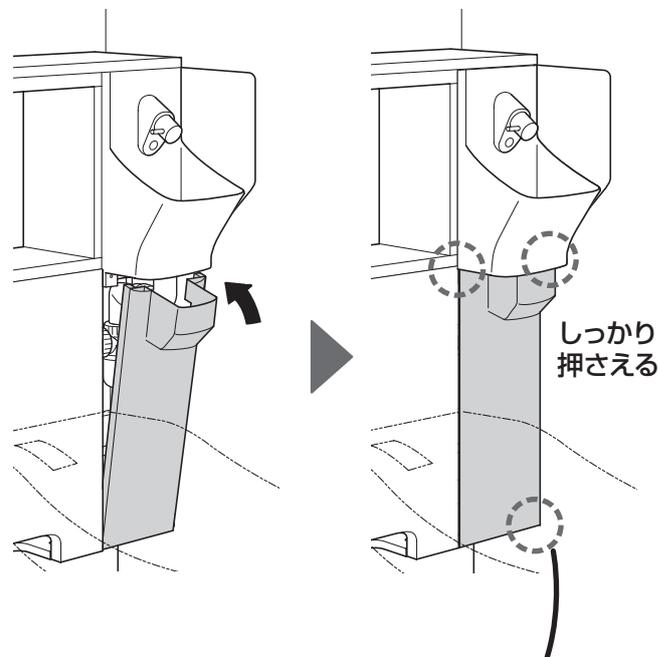
3 エンドパネルに当てる



パネルが手前に倒れる
→ 金具に差し込めていません。

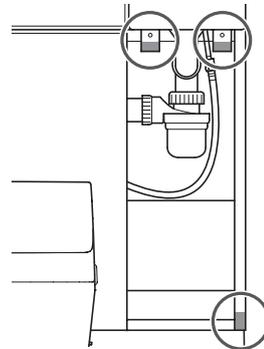


8 カバーBを取り付ける



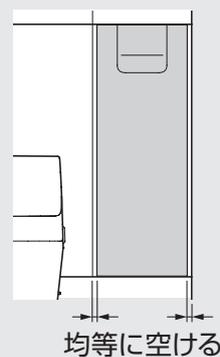
しっかり押さえる

キャビネットに3か所面ファスナーが取り付けられています。



すき間の調整について

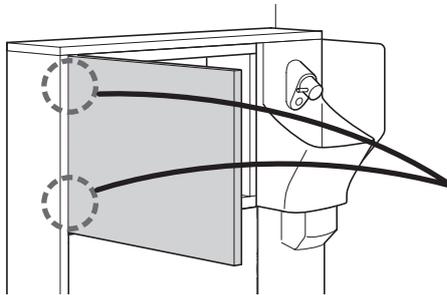
カバーBはすき間を均等に空けて、しっかり押さえて取り付けてください。



均等に空ける

扉の取り付けかた

① 扉の取り付けかた

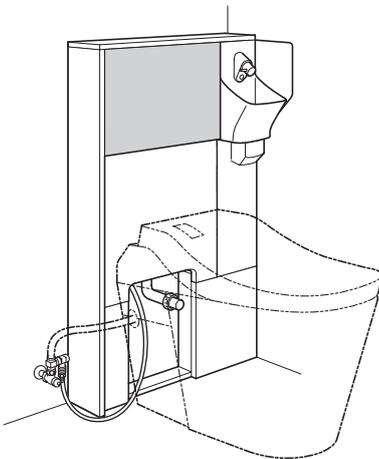


① a を b に差し込む。 「ガチッ」と鳴るまで押さえる。



お願い 取り付け後、扉を持って2、3回開閉し、丁番が確実に固定されていることを確認してください。

② 扉の調整



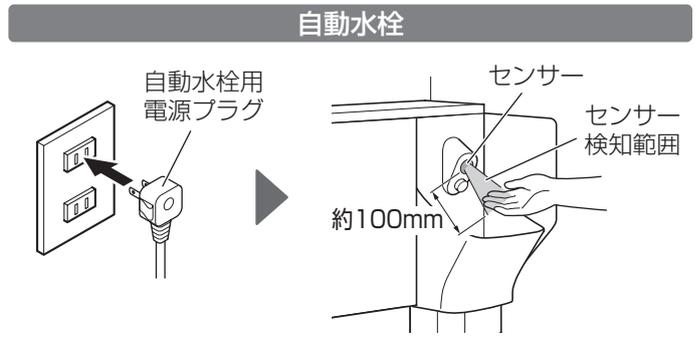
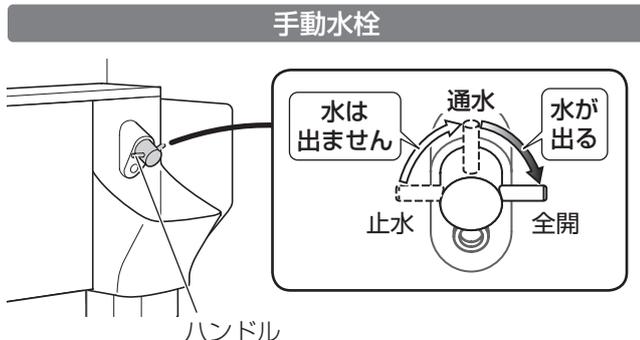
扉の状態	扉が前後に傾いた	左右に傾いた
	調整方法	<p>① A をゆるめて扉を前後に移動させ、しっかり締める</p>

お願い 全ての調整が完了後、扉を2～3回開閉し、扉が確実に固定されたことを確認してください。

試運転

水道の元栓と止水栓を開き、手洗いの通水と給水および排水の接続部からの水漏れを確認する。

扉の取り付けかた／試運転



センサーに手をかざすと水が出る

⚠ 注意



施工後は必ず試運転し、配管・接続部に水漏れがないか確認する
 拡大損害の原因となります。

施工後の確認

施工前の準備	▶	施工手順	▶	扉の取り付け かた／試運転	▶	施工後の確認
5ページ		12ページ		32ページ		33ページ

施工後必ず動作確認を行い、この施工完了チェックリストに施工点検結果を記入の上、お客様へお渡しください。

No.	チェック項目	結果
1	手洗いボールや、カウンターにがたつきはありませんか？	
2	配管部から水漏れはありませんか？	
3	給水栓から水は出ますか？	

注意



凍結のおそれのある地域では、水抜きなどの凍結防止措置を行う
水漏れなどで家財などに損害を与える原因となります。

パナソニックハウジングソリューションズ株式会社
水廻りシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co., Ltd. 2022

SEMS103
D0217-8112